

平成16年度研究業績一覧

平成16年(2004年)4月1日～平成17年(2005年)3月30日

人間・心理学系

五十嵐 敦

【論文】 「交友活動への積極的関与が入学直後の大学生の精神的健康に果たす役割について」 浅岡章一 進路指導研究 第22巻第2号 2004. 6

中学生の親のしつけ行動と夫婦関係
二宮克美ほか 愛知学院大学情報社会政策研究 第7巻1号 2004. 12

【調査報告】 「働く人々のメンタルヘルス；自殺防止のための生活要因」 産業保健情報誌「さんぼ福島」 Vol. 10 2004. 4

「安全のための心理学」 産業保健情報誌「さんぼ福島」 Vol. 11 2004. 11

「人事労務相談：若手社員の特徴と対処法」 月刊人事労務 2004. 8

産業保健調査研究報告書「産業保健情報の共有化を高め、推進センターの活性化を図る調査研究」 黒田、小山、桃生、田中、他 労働福祉事業団福島産業保健推進センター報告書 2004. 4

【学会発表】 「Developmental study on Japanese adolescents' mental health and social adjustment」 共 ISSBD 18th Biennial Meeting ⑧Belgium 2004. 7

「中学生の社会的行動についての研究(13)(14)(15)(16)」 共 日本心理学会第68回大会 ⑧関西学院大学 2004. 9

「中学生の社会的行動についての研究(17)(18)(19)(20)」 共 日本教育心理学会第46回大会 ⑧富山大学 2004. 10

「働く人々のメンタルヘルスに、勤務時間・形態、睡眠の問題は関係しているのか」 共 日本職業災害医学会第52回大会 ⑧岡山大学 2004. 11

内田 詔夫

【学会発表】 哲学と教育と日常の接点 東北哲学会 ⑧桜の聖母短期大学 2004. 10

小野原雅夫

【論文】 講義型授業において学生の主体的学びを支援する試み ―グループ・ディスカッションを活用した講義改革― 岩崎紀

子(福島大学) 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6

「哲学／倫理学」の講義をどう変えていくか ―「教え」から「学び」への転換?― 福島大学教育学部論集 教育・心理部門 76号 2004. 6

自由への教育 ―カント教育論のアポリア― 『別冊情況 特集カント没後200年』 2004. 12

角間 陽子

【著書】 少子高齢社会と生活経済 共著 建帛社

【論文】 異世代間におけるネットワークの可能性―祖父母と孫の交流関係から― 山崎美佐子、草野篤子 信州大学教育学部紀要 112号 2004. 8

介護福祉士養成教育における家政学実習の効果―訪問介護での食生活援助から― 松本短期大学研究紀要 14号 2005. 3

【訳書・翻訳】 現代のエスプリ「インタージェネレーション・コミュニティを育てる世代間交流」・スウェーデン・ストックホルムの義務教育における「おじいちゃんプロジェクト (granddad project)」 草野篤子、秋山博介編(題目の翻訳は単著) 至文堂 444号 2004. 7

【学会発表】 Lifetime estimates of unpaid work in Japan THE 20TH WORLD CONGRESS OF INTERNATIONAL FEDERATION FOR HOME ECONOMICS ⑧KYOTO 2004. 8

木暮 照正

【論文】 福島県原町市における市民カレッジ構想―はらまちマナビカレッジ構想に関する生涯学習プランの提案 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第10巻 2005. 3

【調査報告】 平成16年度公開講座・公開授業アンケート調査の実施報告 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第10巻 2005. 3

生涯学習系協議会参加報告 齊藤寛 福島大学生涯学習教育研究センター年報 第10巻 2005. 3

【学会発表】 物体性視覚短期記憶における空間手掛かりの効果 日本認知心理学会第2回大会 ⑧同志社大学 2004. 5

Can configurational information of space have an influence on visual object working memory? Second International Conference on Working Memory
 関国立京都国際会館 2004. 8

社会的できごとの生起時期推定(2)
 —エイジングの効果— 日本心理学会
 第68回大会 関関西大学 2004. 9

生島 浩

【著書】 困った親への対処法 共著 教育開発
 研究所

【論文】 「ガンコ親父」のすすめ 単著 児童
 心理 804号 2004. 4

行為障害(非行臨床) 単著 日本医
 師会雑誌 131・12 2004. 6

スクールカウンセラーに期待される役割
 は何か 単著 教職研修 388号
 2004. 12

矯正保護機関における行為障害への対応
 と支援 単著 こころの臨床アラカル
 ト 23・4 2004. 12

子どもの危機に臨床家はいかに立ち向か
 うことができるか 単著 犯罪と非行
 143号 2005. 2

非行臨床における心理教育的アプローチ
 単著 現代のエスプリ 451号 2005. 2

【調査報告】 現職教員研修講座に関する調査研究
 中野明德、中田洋二郎、鈴木庸裕 福
 島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6

平成15年度福島大学教育学部附属臨床心
 理・教育相談室活動報告 中野明德、
 中田洋二郎、青木真理 福島大学教育
 実践研究紀要 46号 2004. 6

教育実践総合センター「教育実践」研修
 講座について 中野明德、中田洋二
 郎、鈴木庸裕、青木真理、宮前貢 福
 島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6

【学会発表】 非行・犯罪と地域 日本家族心理学会
 第21回大会 関広島 2004. 6

社会の危機に臨床家はいかに立ち向かう
 ことができるか 日本精神衛生学会創
 立20周年記念大会 関東京 2004. 11

【書評】 島中宗一著「家族支援論」 家族療法
 研究 21・2 2004. 8

鈴木 庸裕

【著書】 特別支援教育の争点 共著 文理閣
 2004. 4

「福祉教育」「統合教育」「交流教育」事
 典項目 共 現代教育方法事典 日本

教育方法学会編、図書文化 2004. 10

【論文】 これからの特別支援教育コーディネータ
 ーのあり方を考える 単 福島大学教
 育実践研究紀要 46号 2004. 6

学級における被虐待児への指導援助に関
 する実践的研究 緑川広美 福島大
 学教育実践研究紀要 46号 2004. 6

学校と家庭、地域をつなぐソーシャルワ
 ークの役割と課題 単 ソーシャルワ
 ーク研究 ソーシャルワーク研究所
 相川書房 30巻2号 2004. 7

特別ニーズ教育をめぐるチームワークの
 形成 単 SNEジャーナル 日本特
 別ニーズ教育学会編、文理閣 10号
 2004. 10

学校ソーシャルワークの実践的課題
 単 福島大学教育学部論集 77号
 2004. 12

つなぐ方法とその担い手の役割 単
 生活指導 全生研編 明治図書 611号
 2004. 12

特別なニーズを持つ子どもの地域生活支
 援をめぐる課題 単 障害者問題研究
 全障研編 32巻4号 2005. 2

千葉 桂子

【著書】 新版家政学事典 分担執筆 朝倉書店
 人間工学の百科事典 分担執筆 丸善
 株式会社

【論文】 障害のある子どもの衣生活を支援するた
 めに一知的障害児の衣服選択と着装の観
 点から— 家庭科教育 78巻10号
 2004. 10

【学会発表】 車いす利用者のための試着スペースの検
 討 社)日本家政学会第56回大会
 関国立京都国際会館 2004. 8

鶴巻 正子

【著書】 特別支援教育への扉 共著 八千代出版

【論文】 AD/HDをもつ子どもの自己評価に関する
 研究 南中田洋二郎、鶴巻正子
 福島大学教育実践研究紀要 第46号
 2004. 6

軽度発達障害のある子どもの理解と支援
 (1) —公開セミナーの概要— 松崎
 博文、昼田源四郎、鶴巻正子 福島大
 学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

軽度発達障害のある子どもの理解と支援
 (2) —シンポジウムでの質疑応答—
 昼田源四郎、鶴巻正子、松崎博文 福
 島大学教育実践研究紀要 第47号

2004. 12
軽度発達障害のある子どもの理解と支援
(3) ー参加者へのアンケート調査の分析ー 鶴巻正子、松崎博文、昼田源四郎 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12
- 【学会発表】** Teaching handwriting behavior of Chinese characters to a child with mental retardation. Association for Behavior Analysis International, 30th Annual ABA Convention 図米・シカゴシェラトンホテル 2004. 5
発達障害児における書字行動の獲得
(2)ー漢字の3つの構成部分を組み合わせるー 日本行動分析学会第22回年次大会 図帝京大学 2004. 9
発達障害児における書字行動の獲得
(3)ー構成反応見本合わせ課題の活用による支援ー 日本特殊教育学会第42回大会 図早稲田大学 2004. 9
「構成反応見本合わせの新たな可能性」Unclear but Present danger 発達障害に対する行動分析的な援助・指導テクノロジーの新たな展開 日本特殊教育学会第42回大会・シンポジウム 図早稲田大学 2004. 9
- 中野 明徳**
【著 書】 専門医をめざす人の精神医学 共著 医学書院
【論 文】 中学生の問題行動に対する保護者の意識の日米比較研究 初沢敏生、昼田源四郎、松崎博文 国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要 4号 2004
現職教員研究講座に関する調査研究 生島浩、鈴木庸裕 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6
学校不適応児の家族援助に関する研究 湊園実 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6
心理検査を活用した援助方針の検討 佐久間恵 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6
ロールシャッハ法と精神分析 単著 福島大学教育学部論集（教育・心理部門） 77号 2004. 12
アメリカの学校における包括的学校保健プログラム 昼田源四郎、松崎博文、初沢敏生、飛田操 福島大学教育学部論集（教育・心理部門） 77号 2004. 12
- 【調査報告】** 平成15（2003）年度福島大学教育学部附属臨床心理・教育相談室活動報告 青木真理、生島浩 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6
学習困難を持つ子どもへのメンタルフレンド活動 青木真理他8名 福島大学教育実践研究紀要 46号 2004. 6
2003年度「臨床心理・教育相談室」フレンドルーム活動報告 青木真理他11名 福島大学教育実践研究紀要 46号2004. 6
教育実践総合センター「教育実践」研修講座についてー2003年度活動報告および受講者アンケート調査結果の検討 青木真理、生島浩、鈴木庸裕、宮前貢 福島大学教育実践研究紀要 46号2004. 6
- 中村 恵子**
【論 文】 ゆで過程におけるスパゲティの芯の状態変化とアルデンテの評価 中町敦子、四宮陽子 日本調理科学会誌 37.2 2004. 5
【学会発表】 加熱に伴う農作物の細胞構造変化と物性について 日本食品工学会 図東京 2004. 8
卵白メレンゲの空気含有量におよぼす砂糖添加の影響 日本調理科学会 図札幌 2004. 9
- 中村 哲也**
【著 書】 新しい小学国語の創造 共著 双文社 pp.13-82 2004. 12
- 浜島 京子**
【著 書】 生活の自立と創造を育む家庭科教育（第7刷） 共著 家政教育社
家庭科で育つ子どもたちの力 共著 明治図書
新編 新しい家庭5・6 共著 東京書籍
【論 文】 児童・生徒の家庭生活における意識・実態調査 第1～4報 中屋、渡瀬、日景、長澤、浜島、黒川、高木、砂上 東北家庭科教育研究 3号 2004. 7
小学校家庭科の指導状況 浜島京子、佐藤未来 家庭科教育 78巻11号 2004. 11
- 【学会発表】** 家庭生活についての全国調査 東北データの分析 日本家庭科教育学会第47回大会 図東京学芸大学 2004. 6
生活上意欲、家庭科学習効果の認知と問題解決意欲 日本家庭科教育学会東北地区会第27回大会 図弘前市民参画センター 2004. 11

飛田 操

【論文】 Synergy between Diversity and Similarity in Group-Idea Generation. Miura Asako Small Group Research 35 2004

【学会発表】 Four heads are better than three? ～小集団問題解決場面における3名集団と4名集団の比較～ 日本グループ・ダイナミックス学会 関東洋大学 2004. 5

非ユークレカ課題における小集団問題解決過程 日本シミュレーション&ゲーミング学会 関東北大学 2004. 6

昼田源四郎

【論文】 アメリカの学校における包括的学校保健プログラム 中野明德、松崎博文、初澤敏生、飛田操、他 福島大学教育学部論集(教育・心理部門) 77号 2004. 12

アメリカと日本における施設化と脱施設化(その1)ー施設化の夢と現実 単著 精神医学史研究 8巻2号 2004. 10

軽度発達障害のある子どもの理解と支援(2) 松崎博文、鶴巻正子 福島大学教育実践研究紀要 47号 2004. 12

【調査報告】 生徒の問題行動に関する日米比較研究ー問題行動の促進および抑制要因の解明 中野明德、松崎博文、初澤敏生、飛田操、他 科研費報告書 基盤研究B(2) 課題番号:14310049 2005. 3

【学会発表】 A Comparative Study of the Behavior Problems of Students between Japan and America Jane Williams, Doug Winborn 16th Annual JUSTEC Seminar 関Waseda Univ. (Tokyo) 2004. 9
高尾山滝治療:聞き書き 第8回精神医学史学会 関慶応大学 東京 2004. 10

福田 一彦

【論文】 Delayed bedtime of nursery school children, caused by the obligatory nap, lasts during the elementary school period. Asaoka S. Sleep and Biological Rhythms Vol. 2, No. 2 2004. 6
固有の診療科を離れた立場からー思春期睡眠習慣とその問題点ー 石原金由 診断と治療 92巻, 7号 2004. 7

Effects of sleep-wake pattern and residential status on psychological distress in university students. Asaoka S., Yamazaki K. Sleep and Biological

Rhythms Vol. 2, No. 3 2004. 10

【学会発表】 健常若年成人における反社会性人格傾向と事象関連電位の特徴について 日本生理心理学会 関仁愛大学、福井県武生市 2004. 5

日常生活における睡眠-覚醒パターンと光暴露パターンとの関連 日本生理心理学会 関仁愛大学、福井県武生市 2004. 5

早産児の睡眠リズムの発達についてーPreterm期から修正12週までの縦断研究ー 日本生理心理学会 関仁愛大学、福井県武生市 2004. 5

ヒト乳児の睡眠覚醒概日リズムの発達は受胎を契機としている 日本睡眠学会 関赤坂プリンスホテル、東京 2004. 7

テレビ視聴時間の制限が大学生と高齢者の睡眠-覚醒パターンに及ぼす影響 日本睡眠学会 関赤坂プリンスホテル、東京 2004. 7

犯罪捜査場面におけるGKTの検出精度と影響要因 日本心理学会 関関西大学、大阪 2004. 9

テレビ視聴は“だらけた生活”の原因か?ー視聴時間の制限が大学生の睡眠-覚醒リズムと覚醒時の活動に与える影響ー 日本心理学会 関関西大学、大阪 2004. 9

テレビ視聴は“だらけた生活”の原因か?ー視聴時間の制限が高齢者の日常生活に与える影響ー 日本心理学会 関関西大学、大阪 2004. 9

睡眠リズムの発達は出産と受胎のどちらを契機としているのかー満期産児と早産児の比較ー 日本心理学会 関関西大学、大阪 2004. 9

満期産児と早産児における睡眠覚醒概日リズムの発達 特に生後2ヵ月の後半(受胎後約46週)に認められる変化について 日本時間生物学会 関ピアザ淡海、滋賀県大津市 2004. 11

テレビ視聴が大学生の睡眠-覚醒パターンに与える影響ー生活時間調査とテレビ視聴制限を用いた実験の両面からー 日本時間生物学会 関ピアザ淡海、滋賀県大津市 2004. 11

松崎 博文

【著書】 ダウン症ハンドブック 共著(分担執筆) 日本文化科学社

【論文】 特殊教育の現状と軽度発達障害児を取り巻く状況ー特殊教育から特別支援教育へ

の転換— 単著 福島大学教育実践研究紀要 第46号 2004. 6

アメリカの学校における包括的学校保健プログラム—子どものいじめ・暴力・自殺を予防するための学校を基盤とした取り組み— 共著 福島大学教育学部論集(教育・心理) 第73号 2004. 12

軽度発達障害のある子どもの理解と支援 (1)—公開セミナーの概要— 共著 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

軽度発達障害のある子どもの理解と支援 (2)—シンポジウムでの質疑応答— 共著 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

軽度発達障害のある子どもの理解と支援 (3)—参加者へのアンケート調査の分析— 共著 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

【調査報告】 生徒の問題行動に関する日米比較研究—問題行動の促進及び抑制要因の解明— 共著 科研費成果報告書 2005. 3

松下 行則

【論 文】 「価値の明確化」型道徳授業を教育現場で試みる(2)—教授行為・学習者構造の問題— 福島大学教育実践研究紀要 第46号 2004. 6

水間 玲子

【論 文】 理想自己への志向性の構造について 心理学研究 75・1 2004. 4

【学会発表】 A study on how the self-narrative transits and develops: Through the transition of subject matters The Third International Conference on Dialogical Self 圏ポーランド, ワルシャワ社会心理学スクール 2004. 8

日常場面における自尊感情 (5)—友人関係のあり方との関連— 日本心理学会第68回大会 圏関西大学 2004. 9

日常場面における自尊感情 (6)—出来事と自己との関係づけにおける自尊感情の変動性による違い— 日本心理学会第68回大会 圏関西大学 2004. 9

日常的コミュニケーション場面における自己呈示—表情と言動に込められる他者反応への期待における予備的検討— 日本心理学会第68回大会 圏関西大学 2004. 9

2種の“自分探し”と個人の自己との関係について—自分探し尺度作成の試み— 日本教育心理学会第46回総会 圏富山大

学 2004. 10

現代青年の規範意識と非行 (指定討論) 日本青年心理学会第12回大会 圏九州大学 2004. 10

心理学者、導入教育への挑戦 (指定討論) 第11回大学教育研究フォーラム 圏京都大学 2005. 3

宮前 貢

【論 文】 教師に求められる「人間的指導力」と教員養成の課題 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

小・中学校連携を目指したカリキュラム開発研究にかかると実践 青木真理、遠藤博晃 福島大学教育実践研究紀要 第47号 2004. 12

【学会発表】 教師に求められる「人間的指導力」と教師教育の課題 日本教師教育学会 圏立教大学 2004. 9

渡辺 隆

【論 文】 虐待する親への心理教育的介入—AD/HDを持つ子どもへの虐待事例の検討— 単著 家族療法研究 21(1)58-65 2004. 4

AD/HDのある子どもの家族への心理教育的介入—障害告知後の肯定的情緒的反応と家族関係の変化— 単著 家族療法研究 21(3) 23-30 2004. 12

AD/HDのある子どもの家族への心理教育的介入—障害告知後の肯定的情緒的反応と家族関係の変化— 単著 家族療法研究 21(1) 37 2004. 4

【学会発表】 AD/HDのある子どもの家族への心理教育的介入—障害告知後の肯定的情緒的反応と家族関係の変化— 単著 日本家族研究・家族療法学会第21回大会 圏木更津市 2004. 4

【書 評】 安全のサインを求めて—子ども虐待防止のためのサインオブセイフティーアプローチ A.Turnell, S.Edwards、著 白木孝二、井上薫、井上直美訳 単著 家族療法研究 21(3) 71-72 2004. 12

文学・芸術学系

新井 浩

【論 文】 越後妻有アートトリエンナーレにおける共同制作の試み—共同制作と造形表現の意味— 福島大学教育実践研究紀要 第46号 2004. 6

【実 技】 蝶が舞う森No.3 150×80×80 第78回国展彫刻部 会員として出品 2004. 4

響 No.6 65×30×30 第27回国展彫
刻部秋期展 会員として出品 2004. 9

幻想と追想に遊ぶもの達 新井浩個展
日本橋三越本店 6階アートスクエア
個展 2004. 10

シエスタ 12×11×16 YEAR END
EXHIBITION OF MINI-SCULPTURE
ギャラリーせいほう 選抜 2004. 12

奏 No.12 ほか 4点 2004三越美術逸
品会 ホテルニューオータニ 参考
2004. 10

蝶が舞う森 190×98×65 第5回桜
の森彫刻コンクール 大賞/182点中
2004. 6

蝶が舞う森No.3 150×80×80 第58回
福島県総合美術展覧会 招待 2004. 6

井実 充史

【論 文】 勅撰三集の閨怨詩について—嵯峨朝思婦
像の諸相— 福島大学教育学部論集,
人文科学部門 第76号 2004. 6

鎮護国家と梵門詩—『文華秀麗集』「梵
門」を中心に— 福島大学教育学部論
集, 人文科学 第77号 2004. 12

磯崎 康彦

【著 書】 江戸時代の蘭画と蘭書・上巻 単著
ゆまに書房 2004. 4

江戸時代の蘭画と蘭書・下巻 単著
ゆまに書房 2005. 3

勝倉 壽一

【論 文】 大原富枝「婉という女」論 福島大学
教育学部論集 第76号 2004. 6

中山義秀「咲庵」論 福島大学教育学
部論集 第77号 2004. 12

【学会発表】 大原富枝「婉という女」について 福
島大学国語学国文学会 関福島大学
2004. 6

『大鏡』道長・伊周弓比べ説話の解釈
解釈学会第36回全国大会 関大妻女子大学
2004. 8

金谷 昌治

【実 技】 合奏 東京ハルモニア室内オーケスト
ラ第28回定期演奏会 関東京文化会館小
ホール 2004. 6

合奏 東京ハルモニア室内オーケスト
ラ第29回定期演奏会 関東京文化会館小
ホール 2004. 9

独奏及び室内楽 カメラータ・セシリ
アチャリティーコンサート 関カトリッ

ク水戸教会 2004. 9

独奏及び室内楽 カメラータ・セシリ
アチャリティーコンサート 関カトリッ
ク水戸教会 2004. 10

独奏及び室内楽 カメラータ・セシリ
アチャリティーコンサート 関カトリッ
ク水戸教会 2004. 11

独奏及び室内楽 カメラータ・セシリ
アチャリティーコンサート 関カトリッ
ク水戸教会 2004. 12

独奏及び室内楽 カメラータ・セシリ
アチャリティーコンサート 関カトリッ
ク水戸教会 2004. 12

独奏(複数の出演者における) セミナ
ーレ・カメラータ 関カトリック水戸教会
2005. 2

澁澤 尚

【論 文】 先秦楚國農業小考—兼ねて孫叔敖の水利
事績を論ず— 福島大学教育学部論集
・人文科学部門 第76号 2004. 6

列子華胥考—古漢語における異類同名に
ついて— 學林 第41号 2005. 3

【学会発表】 聖山と聖堂—壇台文化東漸についての一
試論— 福島大学国語学国文学会
関福島大学 2004. 11

『列子』の華胥について 中国藝文研
究會 関立命館大学 2004. 11

昆侖丘と明堂制 秋田中国学会 関秋
田大学 2004. 12

嶋津 武仁

【実 技】 二人の三味線奏者のための「みちづれ」
Concert R&M (紀尾井ホール、東京)
2004. 6

サウンド・ビジュアル作品「太陽風」
『フュージョン・アーツ・フェスティバ
ル』ニューヨーク 2004. 8

サウンド・ビジュアル作品「太陽風」
会津パフォーマンスフェスティバル
2004. 9

舞踊音楽『マイ・チェーホフ』 芙二
三枝子現代舞踊団公演、東京 2004. 9

児童合唱とチェロ、ピアノのための「幼
き命への墓碑銘」 福島市少年少女合
唱団公演、福島 2004. 9

弦楽オーケストラの為の「アダージェ」
「オルガンと室内楽の夕べ」、福島
2004. 12

新羅琴による「星巡り<燦>」 日本

- 舞踊『祐子の会』、東京 2004. 12
 バイオリン・ソロのための「逝く春」
 JFC アンデパンダン、東京 2005. 1
 17絃箏の為の「風の祭」 日本舞踊公
 演「水の宴」、東京 2005. 3
 「オルガンと室内楽のひとつとき」 福
 島市音楽堂「設立20周年記念コンサート」
 2004. 12

- 【書 評】 「天使の歌声」への思い 福島民報
 2004. 5

高野 保夫

- 【著 書】 開かれる地平 単著 民報印刷
 【論 文】 文科省「国語力向上モデル事業」につい
 ての一考察 言文(福島大学国語学国
 文学会編) 52号 2005. 3
 【学会発表】 「国語力向上モデル事業」が問いかける
 もの 福島大学国語学国文学会 函福
 島大学 2005. 2

- 【書 評】 国語科の教科内容を考えるための読書案
 内『るつぼの中の国語教師』 『国語
 科の教科内容をデザインする』(学文社)
 2004. 8

竹下 英二

- 【著 書】 『セレーノ CD-ROM 版音楽科教育実
 践講座 理論編1』所収論文 「教材選
 択の観点と方法」(86-97頁) 共著
 (株)ニチブン 2004. 4

中畑 淳

- 【実 技】 独奏会 「中畑淳ピアノリサイタル」
 演奏会評4誌 関東京文化会館 2004. 12

半沢 康

- 【論 文】 方言研究と質問調査法 日本語学
 23-8 2004. 6
 おらがことばと○○もんが隣接する方
 言のせめぎあい— 言語 33-9
 2004. 8
 東北地方南部若年層における非標準語形
 使用の要因分析—心理的特性とのかかわ
 り— 国語学研究 44 2005. 3
 【学会発表】 「関西弁帝国主義」は成立するか—東北
 地方における関西方言の影響— 福島
 大学国語学国文学会2004年10月学会
 関福島大学 2004. 10

平田 公子

- 【著 書】 日本音楽教育事典 共著 音楽之友社

健康・運動学系

新谷 崇一

- 【論 文】 生涯スポーツとしての木球~その理論と
 実践~ 新谷崇一、穴戸隆之、周仲忽
 福島大学地域創造 第16巻第1号2004. 9
 【訳書・翻訳】 木球のルール 共著 新谷崇一、穴戸
 隆之、周仲忽 国際木球連盟 2004. 6

小川 宏

- 【著 書】 スポーツによる地域貢献で大学は変わる
 共著 大修館書店
 【論 文】 レクリエーションスポーツの教育的意義
 について—コミュニケーションを促進す
 るための教材価値の観点から— 体育
 ・スポーツ哲学研究 第26巻第2号
 2004. 12

川本 和久

- 【論 文】 Eight days KAATSU-resistance training
 improved sprint but not jump perform-
 ance in collegiate male track and field
 athletes T. Abe, T. Yasuda, C. F.
 Kearns, T. Midorikawa, T. Sato Inter-
 national Journal of KAATSU Training
 Research Vol.1-1 2005. 3

- 【調査報告】 吉田真希子の足跡・その1・大学4年間
 吉田真希子 陸上競技研究 60号
 2005. 3

- 【学会発表】 日本トップスプリンターの身体組成と競
 技成績 第17回トレーニング科学研究
 会 関東京女子体育大学 2004. 11

- 【実 技】 池田久美子：100mH 第88回日本陸
 上競技選手権 1位 関鳥取 2004. 6

丹野麻美：400m 第88回日本陸上競
 技選手権 1位 関鳥取 2004. 6

久保倉里美：400m 第88回日本陸上
 競技選手権 2位 関鳥取 2004. 6

木田真有：400m 第88回日本陸上競
 技選手権 3位 関鳥取 2004. 6

池田久美子：走幅跳 第88回日本陸上
 競技選手権 2位 関鳥取 2004. 6

松田薫：200m 第88回日本陸上競
 技選手権 3位 関鳥取 2004. 6

佐藤光浩：400m 第88回日本陸上競
 技選手権 1位 関鳥取 2004. 6

吉田真希子：400mH 第88回日本陸
 上競技選手権 1位 関鳥取 2004. 6

久保倉里美：400mH 第88回日本陸
 上競技選手権 2位 関鳥取 2004. 6

- 丹野麻美：400m アジアジュニア選手権 2位日本記録 ㊦インドネシア 2004. 6
- 丹野麻美：4×100m R アジアジュニア選手権 1位 ㊦インドネシア 2004. 6
- 松田 薫：4×100m R アジアジュニア選手権 1位 ㊦インドネシア 2004. 6
- 松田 薫：200m アジアジュニア選手権 5位 ㊦インドネシア 2004. 6
- 丹野麻美：400m 第73回日本学生陸上競技対校選手権 1位 ㊦東京 2004. 7
- 木田真有：400m 第73回日本学生陸上競技対校選手権 2位 ㊦東京 2004. 7
- 久保倉里美：400m 第73回日本学生陸上競技対校選手権 3位 ㊦東京 2004. 7
- 熊谷史子：100mH 第73回日本学生陸上競技対校選手権 2位 ㊦東京 2004. 7
- 福島大学：4×100mR 第73回日本学生陸上競技対校選手権 1位 ㊦東京 2004. 7
- 佐藤広樹：800m 第73回日本学生陸上競技対校選手権 2位 ㊦東京 2004. 7
- 丹野麻美：200m 第73回日本学生陸上競技対校選手権 1位 ㊦東京 2004. 7
- 久保倉里美：400mH 第73回日本学生陸上競技対校選手権 1位 ㊦東京 2004. 7
- 福島大学：4×400mR 第73回日本学生陸上競技対校選手権 1位日本学生記録 ㊦東京 2004. 7
- 松田 薫：100m 第10回世界ジュニア選手権 予選 ㊦イタリア 2004. 7
- 丹野麻美：400m 第10回世界ジュニア選手権 6位 ㊦イタリア 2004. 7
- 松田 薫：200m 第10回世界ジュニア選手権 予選 ㊦イタリア 2004. 7
- 丹野麻美：4×100m R 第10回世界ジュニア選手権 予選 ㊦イタリア 2004. 7
- 松田 薫：4×100m R 第10回世界ジュニア選手権 予選 ㊦イタリア
- 佐藤光浩：400m アテネオリンピック 予選 ㊦アテネ 2004. 8
- 佐藤光浩：4×400mR アテネオリンピック 4位 ㊦アテネ 2004. 8
- 久保倉里美：400mH スーパー陸上日本学生記録 ㊦横浜 2004. 9
- 松本真理子：200m 第52回全日本実業団対抗選手権 2位 ㊦岡山 2004. 9
- 吉田真希子：400mH 第52回全日本実業団対抗選手権 1位 ㊦岡山 2004. 9
- 池田久美子：走幅跳 第52回全日本実業団対抗選手権 2位 ㊦岡山 2004. 9
- 佐藤光浩：400m 第52回全日本実業団対抗選手権 1位 ㊦岡山 2004. 9
- 吉田真希子：400m 第52回全日本実業団対抗選手権 1位 ㊦岡山 2004. 9
- 池田久美子：100mH 第52回全日本実業団対抗選手権 1位 ㊦岡山 2004. 9
- 茂木智子：100mH 第52回全日本実業団対抗選手権 2位 ㊦岡山 2004. 9
- 池田久美子：走幅跳 第1回アジアオールスター 2位 ㊦シンガポール 2004. 9
- 丹野麻美：400m 第1回アジアオールスター 2位 ㊦シンガポール 2004. 9
- 久保倉里美：400mH 実業団対学生対抗 日本学生記録 ㊦小田原 2004. 10
- 福島大学：4×100mR 第88回日本陸上競技選手権 1位 ㊦前橋 2004. 10
- 福島大学：4×400mR 第88回日本陸上競技選手権 1位日本学生記録 ㊦前橋 2004. 10
- 福島大学：スウェーデンリレー レディース陸上 日本学生記録 ㊦熊本 2004. 11

菅家 礼子

- 【論文】 リズミカル・ムーブメントにおける音楽と動きの研究 ～音楽構成の理解と動きの変容との関係性～ 伊野義博、森下修次、田中幸治、滝澤かほる、坂下玲子 新潟大学教育人間科学部紀要 第7巻第1号 2004. 10

「からだ学習」の実践のための総合的研究 ーからだと心の自己学習をすすめる保健室づくりー 高橋由美子、佐藤文

子、菅家礼子、森知高、佐藤理 福島
大学教育実践研究紀要 第46号 2004. 6

大学)、安田俊広(福島大学) 第55
回日本体育学会大会 関信州大学
2004. 9

黒須 充

- 【著 書】 スポーツによる地域貢献で大学は変わる
共著 大修館書店 2004. 12
- 総合型地域スポーツクラブ 編著
ぎょうせい 2005. 3
- 【論 文】 総合型地域スポーツクラブの創設と自治
体の役割 市政 Vol.54 No.1 2005. 1
- 【調査報告】 県中・県南7町村のスポーツの現状と課
題 うつくしま広域スポーツセンター
2004. 4
- Q & A 総合型地域スポーツクラブ み
んなのスポーツ 2004年6月号
Vol.302 2004. 6
- 福島県民の運動・スポーツに関する実態
調査報告書 財団法人福島県体育協会
・福島県教育委員会 2004. 11
- 地域が舞台 スポーツクラブが社会を変
える 指導者のためのスポーツジャー
ナル 2004年冬号(通巻262号)
2004. 11
- 第4回総合型地域スポーツクラブ育成状
況に関する調査報告書 NPO 法人ク
ラブネッツ 2005. 3
- 【学会発表】 学外での体育スポーツ活動 日本体育
学会第55回大会本部企画シンポジウムⅡ
関信州大学 2004. 9
- スポーツと地域づくりの連携のあり方
平成16年度地域活性化フォーラム 関有
楽町朝日ホール 2005. 2

佐々木 武人

- 【論 文】 障害者の柔道指導に関する研究動向と課
題—特に欧米の動向より— 福島大学
教育学部論集・教育・心理部門 No.76
2004. 6
- 【調査報告】 —21世紀の時代における武道の役割—
“障害者と武道” 共著 平成16度・
国土研究会「国際シンポジウム」 4th
The New Japan 2005. 3
- 【学会発表】 一流柔道選手を対象とした効果的な釣手
動作の検討 曾我部晋哉(甲南大学)、
平井浩一郎、中村良三、小侯幸嗣、岡田
弘隆、久保田浩史、廣川充史、坂本道人
(筑波大学)、山崎俊輔(甲南大学)
日本武道学会第37回大会 関香川大学
2004. 8
- 一流スノーボード指導者によるロングタ
ーンカービングの動作分析 山内武巳
(石巻専修大学)、奥津光晴、北村勝郎
(東北大学)、高戸仁朗(東北文化学園

佐藤 理

- 【著 書】 学校保健ハンドブック 共 ぎょうせい
「授業書」方式による保健の授業 共
大修館書店
- 【論 文】 「からだ学習」の実践のための総合的研
究—からだの自己学習をすすめる保健室
づくり— 高橋由美子、佐藤文子、菅
家礼子、森知高 福島大学教育実践研
究紀要 第46号 2004. 6

白石 豊

- 【著 書】 どの子も伸びる運動神経 指導者編
共 かもがわ出版
スポーツの得意な子に育つ親子遊び
単 PHP 研究所
心を鍛える言葉 単 日本放送出版協会
- 【論 文】 体育における「四摂法」 単 楽しい
体育の授業 181号 2004. 12
- Fernostliches Mentaltraining 単
Leistungssport 6/2004 2004. 12

杉浦 弘一

- 【著 書】 スポーツによる地域貢献で大学は変わる
共著 大修館書店 担当 pp.125-136
- 【実 技】 福島大学女子バスケットボール部(監
督) 東北学生バスケットボールリー
グ 第5位 2004. 9
- 福島大学女子バスケットボール部(監
督) 南奥羽学生春季バスケットボ
ール大会 第3位 2004. 5
- 福島大学女子バスケットボール部(監
督) 第57回福島県総合体育大会
第2位 2004. 7
- 福島県成年女子選抜(バスケットボール
競技)(監督) 東北総合体育大会
Bブロック3位 2004. 8
- 松田朋子(バスケットボール部で指導)
東北総合体育大会 福島県代表選手と
して出場、Bブロック3位 2004. 8
- 審判(バスケットボール) 日本スポ
ーツマスターズ2004福島大会バスケット
ボール競技 1回戦、2回戦審判(2試合)
2004

鈴木裕美子

- 【調査報告】 集団演技出演者の技能と意識の変容
単 舞踊学 26号 2004. 5
- 【学会発表】 地域おこしと祭り～福島わらじまつり～

舞踊学会 圏沖縄県立芸術大学 2004.12

2004. 6

安田 俊広

【論 文】 後期高齢者エリートアスリートにおける
全身持久性運動の安全性 鱈坂隆一、
勝田 茂、川島紫乃、大森 肇、松田光
生、渡辺重行、山口 巖 筑波大学体
育科学系紀要 27 2004

【学会発表】 スノーボードロングターンカービングの
動作分析 第55回日本体育学会大会
圏長野 2004. 9

【学会発表】 太宰治の外国文学受容について 日本
比較文学会東北・北海道支部 圏仙台市
仙台文学館 2004. 12

佐々木俊彦

【論 文】 The Trainspotting Phenomenon in Japan:
The History of the Reception of the Nov-
elistic and Cinematic Texts 商学論集
第73巻第3号 2005. 3

霜鳥 慶邦

【著 書】 Do You Know This?: Short Readings
and Basic Grammar for Cultural Literacy
(大学テキスト) 共著 朝日出版社

Eye-opening Facts: Short Readings and
Basic Grammar for Cultural Literacy (大
学テキスト) 共著 朝日出版社

【訳書・翻訳】 『D.H.ロレンス書簡集Ⅲ』 共訳
松柏社 2005. 3

【学会発表】 「〈生〉の象徴アメリカ／〈悪〉の根源ア
ジア—『セント・モア』の植民地幻想」
共同(ワークショップ『『セント・モ
ア』を再導入する』にて) 日本ロレ
ンス協会 設立35年記念大会 圏日本
大学芸術学部 2004. 6

【書 評】 Ronald Granofsky, D. H. Lawrence and
Survival: Darwinism in the Fiction of
the Transitional Period 単著 『D.
H.ロレンス研究』 14・15合併号2005. 3

外国語・外国文化学系

朝賀 俊彦

【論 文】 Predication in the English Classifier Con-
struction Proceedings of the 59th
Conference The Tohoku English Liter-
ary Society 2005. 3

【学会発表】 類別詞構文における叙述関係 東北英
文学会第59回大会 圏東北大学 2004. 11

池澤 實芳

【論 文】 人が落ちる物語—90代後半の4篇の鉄
凝作品の考察— 商学論集 73巻3号
2005. 3

衛藤 安治

【論 文】 Beowulf における罪のことなど 英語
史研究会会報 第11号 2004. 6

金 敬雄

【論 文】 井上哲次郎の『訂増英華字典』に於ける
訳語の増設についての考察—底本の英
語に新設した訳語— 行政社会論集第
17巻第2号 2004. 9

【学会発表】 中朝日漢字語彙の対照研究—一等級別国
語教育用語彙を軸に— 漢字文化圏近
代語研究会 圏中国上海・同济大学
2005. 3

九頭見 和夫

【著 書】 太宰治と外国文学、翻案小説の「原典」
へのアプローチ 単著 和泉書院

【論 文】 太宰治の「人魚の海」についての比較文
学的考察 国文学年次別論文集・近代
4 (朋文出版) 2004. 12

太宰治の「乞食学生」と外国文学 国
文学年次別論文集・近代4 (朋文出版)
2004. 12

【訳書・翻訳】 アンリー・デュナン—波瀾万丈の生涯と
驚異的なヴィジョン 単著 福島大学
教育学部論集、人文科学部門 76号

手代木有児

【論 文】 梁啓超の史界革命与明治時期的歴史学
近代中国 (上海中山学社) 第14輯
2004. 8

【学会発表】 清末における西洋体験と「公」概念の展
開 公共哲学京都フォーラム東北会議
圏東北文学部 2004. 9

【書 評】 島田虔二編訳、梁啓超年譜長編第1巻
東方 283号 2004. 9

長尾 光之

【論 文】 いくつかの漢訳仏典における副詞と連詞
(上) 単著 行政社会論集 17巻・3号
2005. 1

いくつかの漢訳仏典における副詞と連詞
(下) 単著 行政社会論集 17巻・4号
2005. 3

【調査報告】 福島高商外人教師博華 単著 季刊中
国 79巻 2004年冬季号 2004. 12

04ふくしま平和のための戦争展と平和講
演会 共著 福島大学地域創造 2号
2005. 2

- 【学会発表】 使用電脳ネットワークデータベース和 Excel データベースの漢訳仏經の語法 第11回全国近代漢語学術年会・国際学術研討会 中国・徐州市徐州師範大学 2004.10

林 修

- 【著 書】 L'écriture du moi dans l'oeuvre de Marguerite Yourcenar 共著 SIEY(Clermond-Ferrand), FRANCE

Marguerite Yourcenar Ecrivain du XIXe siècle? 共著 SIEY(Clermond-Ferrand), FRANCE

- 【学会発表】 Marguerite Yourcenar et la poesie du haiku Marguerite Yourcenar et l'Univers Poetique 東京日仏学院 2004. 9

松浦 浩子

- 【著 書】 Essential Listening for the TOEIC Test 共著 金星堂

- 【論 文】 Compliment-giving Behavior in American English and Japanese JALT Journal 26(2) 2004.11

- 【調査報告】 The Officialization of English and ELT in Japan: 2000 Miho Fujieda, Sean Mahoney World Englishes 23(3) 2004. 8

法律・政治学系

伊藤 宏之

- 【論 文】 ホッブスをめぐるカントとスミス 単著 福島大学教育学部論集 第75号 2004.12

キリスト教的平等主義者としてのジョン・ロック 単著 福島大学教育学部論集 第74号 2004. 6

- 【書 評】 藤垣裕子著、専門知と公共性、東京大学出版会、2003年5月 社会思想史研究 No.28 2004. 9

稲庭 恒一

- 【論 文】 第三セクター会社の経営体制等経営状況・破綻に関する法的研究—第三セクター会社の全国的アンケート調査の結果を中心として— その1 単著 福島大学行政社会論集 17巻1号 2004. 6

同 その2 単著 福島大学行政社会論集 17巻2号 2004. 9

同 その3 単著 福島大学行政社会論集 17巻3号 2005. 1

今井 照

- 【著 書】 図解よくわかる地方自治のしくみ<第2次改訂版> 単著 学陽書房

超入門地方自治制度はこうなっている<第1次改訂版> 単著 学陽書房

自治体再構築における行政組織と職員の将来像 単著 公人の友社

分権型社会の政治と自治 共著 敬文堂
実践の政治学〔改訂版〕 共著 法律文化社

- 【論 文】 市民自治の制度化と政策法務 都市問題 第95巻第5号 2004. 5

一人ひとりを中心としたコミュニティ・ガバナンスへ 年報自治体学 第17号 2004. 5

アウトソーシングと指定管理者制度の位相 地方自治職員研修 第37巻第9号 通巻517号 2004. 9

首長部局による教育政策のリスクと可能性 ガバナンス 通巻第70号 2005. 2

市町村合併に伴う自治体政治動向について—首長選挙と議会議員選挙の分析— 自治総研 通巻第317号 2005. 3

市町村合併に伴う自治体政治動向について—首長選挙と議会議員選挙の分析— 全国首長名簿2004年版 2005. 3

- 【学会発表】 新しい自治体人事制度の模索 自治体学会 圏千葉市 2004. 8

上田 真理

- 【調査報告】 社会保障法(2004年学界回顧) 国京則幸 法律時報 76巻13号 2004.12

金井 光生

- 【論 文】 ホームズの子どもたち、もしくは、Maleus Maleficarum 東京都立大学法学会雑誌 45巻1号 2004. 7

功刀 俊洋

- 【著 書】 戦後型地方政治の成立 単著 敬文堂

今野 順夫

- 【著 書】 福祉の現場 実践と発言 共著 信山社

- 【論 文】 全額払いの原則と相殺・放棄 Jurist 増刊(「労働法の争点」[第3版]) 2004.12

下山 憲治

- 【論 文】 不確実性の条件下における行政決定の法的制御に関する一考察 行政社会論集 17巻3号 2005. 1

- 【調査報告】 要綱による労災就学援護費の不支給決定と処分性（判例評釈） 法学セミナー 594号 2004. 6
- 目黒公園都市計画決定における裁量統制（判例評釈） 福島大学地域創造 16巻1号 2004. 9
- 地震災害と道路管理の瑕疵（判例評釈） 法学セミナー 598号 2004. 9
- 環境影響評価書等の試案の非公開情報該当性（判例評釈） 法学セミナー 603号 2005. 2

高瀬 雅男

- 【著 書】 農業協同組合とシャーマン法 丹宗暁信ほか編『構造改革批判と法の視点』 共著 花伝社

中里見 博

- 【著 書】 憲法24条+9条—なぜ男女平等がねらわれるのか 単著 かもがわ出版
- 【論 文】 ポルノグラフィと法規制—ポルノの性暴力にジェンダー法学はいかに対抗すべきか 単著 東北大学21世紀 COE プログラム研究年報 2号I 2005. 3
- 【調査報告】 （学会回顧）ジェンダーと法 共著 二宮周平、谷田川知恵 法律時報 76巻3号 2004. 12
- （資料）米国マサチューセッツ州およびミネソタ州におけるドメスティック・バイオレンスへの取り組みについて(2) 単著 福島大学行政社会論集 17巻1号 2004. 6
- 【訳書・翻訳】 リチャード・デルガド&ジーン・ステファンシック「ポルノグラフィと女性への被害—いかにして社会学者が救済の必要性を理解しそこねることがあるか」 単著 ポルノ・買春問題研究会論文・資料集 5号 2004. 11
- 【学会発表】 ポルノ被害と法規制—ポルノグラフィと法をめぐる視座転換をめざして ジェンダー法学会 関専修大学 2004. 12

社会・歴史学系

阿部 成治

- 【著 書】 欧米のまちづくり・都市計画制度 共著 ぎょうせい
- 【論 文】 ドイツのエコロジー都市施策における協働型プロジェクトに関する研究 神吉紀世子、小浦久子 日本都市計画学会論文集 39号 2004. 11

岩崎由美子

- 【著 書】 女性農業者の法的地位の明確化・強化について 共著 （社）女性・生活協会
- 【論 文】 「オルタナティブ・ワーク」としての農村女性起業と法人化 単著 農業と経済 70巻15号 2004. 12
- 【調査報告】 実践報告：第4回演習「水と緑と農との共生のある環境づくり」 塩谷弘康「まちづくりと生涯学習」における専門的人材養成に関する調査研究報告書 2005. 3
- 【学会発表】 家族経営における女性の地位—生産と生活の両面から 日本農業法学会 関東京経済大学 2004. 11

加藤 眞義

- 【論 文】 「市民社会」論再考：John Ehrenbergの所説をめぐって 単著 社会学年報 東北社会学会50周年記念特別号 2004. 7

丹波 史紀

- 【論 文】 わが国におけるひとり親家庭へのワークフェア政策の動向と課題 総合社会福祉研究 第25号 2004. 11

千葉 悦子

- 【著 書】 自然との共生とまちづくり 共著 北樹出版
- 女性白書2004 共著 ほるぷ出版
- 【論 文】 女性参画の促進 農業と経済 臨時増刊号 2004. 7
- 男女共同参画の視点から「担い手」問題を考える 食料・農業・農村基本計画の見直しについての見解（衆議院調査局） 2004. 11
- 【調査報告】 男女共同参画に関する意識調査報告書 高橋準、中里見博 福島市 2005. 3
- 「まちづくりと生涯学習」における専門的人材養成に関する調査研究ⅠⅡ 荒木田、今西、岩崎、境野、松野、坂本、塩谷 2005. 3
- 【書 評】 Women and Families in Rural Japan By M. Tsutsumi(Ed). International Journal of Japanese Sociology No.13 2004. 10

牧田 実

- 【論 文】 過疎地域におけるソーシャル・サポート・ネットワークと社会的資源 大塚洋子 日本家政学会家族関係学部会『家族関係学』 第23号 2004. 10
- 【学会発表】 地域住民組織とコミュニティー福島県三

春町の地区まちづくり協会の事例をと
おして コミュニティ政策学会・研究
フォーラム第3回大会 関西学院大学
2004. 7

バンコクのスラムにおける地域住民組
織—カナカマカーン・チュムチョン・
ワット・ユアンクランランパックの事例
第77回日本社会学会 関熊本大学
2004. 11

経済学系

阿部 高樹

【論 文】 Real Indeterminacy in a Production Econ-
omy with Incomplete Markets Discussion Paper Series no.34. (The Eco-
nomic Society of Fukushima University)
2004. 12

伊部 正之

【書 評】 平田哲男『レッド・パーズの史的究明』
歴史評論 NO.654 2004. 10

大野 正智

【論 文】 The Choice of Invoice Currency under
Uncertainty: Theory and Evidence from
Korea Shin-ichi Fukuda 東京大学
CRIJE Discussion Paper Series No. F-
271 2004. 4

【学会発表】 貿易契約通貨の決定メカニズム—東アジ
アにおける「円の国際化」の視点から
福田慎一 アジア経済研究所「国際通
貨体制の新展開と開発途上国」研究会
関上智大学 2004. 7

熊本 尚雄

【論 文】 為替相場のボラティリティが国際貿易に
及ぼす影響：サーヴェイと今後の展望
一橋研究 第29巻・第1号 2004. 4

基軸通貨ドルにおける慣性の実証分析
一橋論叢 第131巻・第6号 2004. 6

為替相場における投機的バブルの期待安
定性 熊本方雄 商学論集 第73巻
・第1号 2004. 9

レセプトデータによる医療費改定の分析
細谷圭、増原宏明 鶴田忠彦[編著]
『日本の医療改革—レセプトデータに
よる経済分析—』所収(第7章)、東洋
経済新報社 2004. 9

伸縮的価格マネタリーモデルの共和分
析 熊本方雄 生活経済学研究 第
20巻 2004. 9

通貨代替と為替相場のボラティリティー

メキシコにおける事例— 熊本方雄
ラテンアメリカ論集 第38号 2004. 11

ラテンアメリカのマクロ経済分析(1)
—概観— 熊本方雄 東京経大学
会誌 第241号 2005. 1

ラテンアメリカのマクロ経済分析(2)
—経済成長— 熊本方雄 東京経大
学会誌 第243号 2005. 3

ラテンアメリカのマクロ経済分析(3)
—累積債務問題— 熊本方雄 東京
経学会誌 第245号 2005. 3

小島 彰

【著 書】 郡山の商業 郡山市史統編3 通史
共著 郡山市

小山 良太

【著 書】 競走馬産業の形成と協同組合 単著
日本経済評論社 2004. 6

【論 文】 合併農協の挑戦—JAさっぽろ—
『ニューカントリー』北海道協同組合通
信社 第51巻第9号 2004. 9

組合員参加と意思決定 『ニューカン
トリー』北海道協同組合通信社 第51巻
第8号 2004. 8

日高・胆振地方における軽種馬生産の構
造変動③—預託生産の動向と経営対
応— 『JBBA NEWS』社団法人日
本軽種馬協会 Vol.377、第33巻6号
2004. 6

日高・胆振地方における軽種馬生産の構
造変動②—軽種馬部門中止の動向—
『JBBA NEWS』社団法人日本軽種馬協
会 Vol.376、第33巻5号 2004. 5

日高・胆振地方における軽種馬生産の構
造変動①—生産者数の減少と階層変動—
『JBBA NEWS』社団法人日本軽種馬協
会 Vol.375、第33巻4号 2004. 4

【調査報告】 軽種馬振興と経営展開方向 古林英一
(北海学園大学) 『平成16年度軽種
馬経営体育成促進事業報告書』北海道日
高支庁 2005. 3

北海道農協における准組合員対策と実践
課題 糸山健介、林扶俊(北海道大学
大学院) 北海道地域農業研究所
2005. 3

地域戦略の策定と合意形成の実行
『地域農業存立及び地域戦略形成システ
ム調査検討業務』北海道地域農業研究所
2005. 3

広域合併農協と農業事業・組織問題

- 『農協改革への提言—北海道の内なる改革を目指して—』北海道地域農業研究所
2005. 3
- 員外および准組合員対応と金融・生活事業 『農協改革への提言—北海道の内なる改革を目指して—』北海道地域農業研究所
2005. 3
- 全国系統農協の事業・組織再編と北海道 『農協改革への提言—北海道の内なる改革を目指して—』北海道地域農業研究所
2005. 3
- 協業化の論理と形態 古林英一（北海学園大学） 『さけ定置漁業の協業化に関する調査・研究』北海道定置漁業協会
2004. 4
- 【学会発表】 軽種馬経営の協業化モデルに関する一考察 日本ウマ科学会 函東京大学
2004. 11
- 農協の組織基盤と事業体制再編に関する研究—広域合併農協と連合会機能に注目して— 日本協同組合学会 函広島大学
2004. 10
- 【書 評】 岩崎徹著『競馬社会をみると日本経済がみえてくる—国際化と馬産地の課題—』『Hippophile』日本ウマ科学会 No.18
2004. 10
- 清水 修二
- 【著 書】 郡山市史・続編3 通史 共著 郡山市書店協同組合
2004. 9
- 【書 評】 地方小都市の産業振興戦略 福島大学地域創造 16巻1号
2004. 9
- 初沢 敏生
- 【著 書】 産業のグローバル化と産業地域 共原書房
- 【論 文】 福島県会津本郷陶磁器業の特徴と課題 単 福島大学教育学部論集 社会編 74
2004. 6
- 大堀相馬焼産地の特徴と課題 吉田聡子 福島大学地域創造 16・1
2004. 9
- わが国におけるミニ独立国運動の特徴 大塚亮太 福島地理論集 47
2004. 9
- 和ろうそく製造業の特徴と課題 単 福島大学教育学部論集 社会編 75
2004. 12
- アメリカの学校における包括的学校保健プログラム 昼田源四郎、他 福島大学教育学部論集 教育・心理編 77
2004. 12
- 模擬授業実践報告（3） 小学校4年社会科 地域の食文化の学習を例として 単 福島大学教育実践研究紀要 47
2004. 12
- 中高層建築物の分布からみた盛岡市中心部の都市構造の特質 単 福島大学地域創造 16・2
2005. 2
- 【調査報告】 生徒の問題行動に関する日米比較研究 昼田源四郎、他 科学研究費報告書
2005. 3
- 【学会発表】 大堀相馬焼産地の特性と技術伝承 東北地理学会 函仙台市戦災復興記念館
2004. 5
- 福島大学教育学部における地理教育実践報告 立正地理学会 函立正大学
2004. 6
- 中学校社会科地理的分野における「中国のとらえ方」に関する一考察 福島地理学会 函新鶴村・ほっとぴあ新鶴
2004. 10

経営学系

飯田 史彦

- 【著 書】 生きがいの教室 単著 P H P 研究所
生きがいの探求 単著 P H P 研究所
生きがいの創造 II 単著 P H P 研究所
- 人生において「会社」とは何か 単著 P H P 研究所
- 【論 文】 医療施設の差別化戦略に関する基本原理 福島大学商学論集 第73巻第2号
2004. 10

遠藤 明子

- 【論 文】 小売企業における物流業務内部化の論理：株式会社しまむらの事例 日本経営システム学会誌 第21巻第1号
2004. 9

貴田岡 信

- 【論 文】 ストープス氏指導による二段式標準原価計算の基本的構造とその特徴 単著 商学論集（福島大学） 第73巻第4号
2005. 3

衣川 修平

- 【論 文】 減損会計に関わる税効果会計 減損会計・税務特別委員会中間報告書
2004. 10
- 【学会発表】 減損会計・税務特別委員会中間報告 税務会計研究学会 函熊本学園大学
2004. 10

高山 清治

- 【論 文】 法人税法の概観—ドイツを中心として—
経理研究 第48巻 2005. 3

富澤 克美

- 【論 文】 1920年代アメリカにおける余暇・消費問題と労使関係の新たな「精神」の誕生：
経営プロフェッショナリズムとアメリカ
労働総同盟の「対話」 商学論集（福
島大学経済学会） 73巻2号 2005. 1

- 【学会発表】 1920年代アメリカにおける余暇・消費問題と労使関係の新たな「精神」の誕生：
経営プロフェッショナリズムとアメリカ
労働総同盟の「対話」 社会経済史学
会東北部会 関東北大学 2004. 6

美馬 武千代

- 【論 文】 概念フレームワークにおける会計公準の
役割 商学論集 73巻5号 2005. 3

- 【調査報告】 未来へ向けて 福島石油50年史
2005. 3

村田 英治

- 【論 文】 後入先出法と会計主体論（研究ノート）
商学論集（福島大学） 73巻4号
2005. 3

- 【書 評】 『財務諸表論究—動的貸借対照表論の応
用（第2版）』より学ぶ 新田忠誓先
生還暦記念論文集『会計数値の形成と財
務情報』白桃書房 2005. 1

山浦 廣海

- 【論 文】 WTO サービス交渉と人の移動 東北
経済学会誌 2003年度版、2003年度修
正版平成16年11月 2004. 9

アジアFTA網構築の基軸形成に向けて
日本貿易学会年報 第42号 2005. 3

- 【学会発表】 アジアFTA網構築の基軸形成に向けて
日本貿易学会 関日本大学経済学部
2004. 6

数理・情報学系**篠田 伸夫**

- 【学会発表】 中学校Webページの運営に関する実態調
査とその分析 馬場 宏昌、篠田 伸夫
日本産業技術教育学会第22回東北支部大
会 関秋田県生涯学習センター 2004. 11

董 彦文

- 【学会発表】 Formulation of Two-Stage Possibilistic
Programming Model For Fuzzy Vehicle
Routing Problem The 1st Interna-
tional Congress on Logistics and SCM

Systems 関東京 2004. 12

待ち時間と時間遅れのペナルティーを考
慮したファジィ配送スケジューリング問
題に関する研究 日本経営工学会
関東京 2004. 5

多変量解析手法を用いた取引先の信用評
価問題に関する研究 日本経営工学会
関金沢 2004. 10

星野 珙二

- 【論 文】 生協の社会性と経済性の両立に関する経
営学的研究 三崎秀央、上野山達哉、
川上昌直 第2回生協総研賞・研究奨
励助成事業研究論文集 2004. 9

T P S理解のために—システム論・在庫
管理論の立場から 単著 商学論集
第73巻、第4号 2005. 3

- 【学会発表】 Comparison Between r, R -Policy and
Fixed-interval Ordering Policy 13th
International Symposium on Inventories
関Budapest, Hungary 2004. 8

三浦 一之

- 【論 文】 Canonical Decomposition, Realizer, Schnyder
Labeling and Orderly Spanning Trees
of Plane Graphs M. Azuma, T.
Nishizeki Foundations of Computer
Science 16. 1 2005. 2

- 【学会発表】 Canonical Decomposition, Realizer, Schnyder
Labeling and Orderly Spanning Trees
of Plane Graphs COCOON 2004
関韓国 濟州島 2004. 8

Inner Rectangular Drawings of Plane
Graphs ISAAC 2004 関中国 香港
2004. 12

Rectangle-of-influence drawings of four-
connected plane graphs APVIS 2005
関オーストラリア シドニー 2005. 1

横山 雅夫

- 【論 文】 Optimization of Two-stage Production
System with Assembly and Setup Opera-
tions Computers and Operations Re-
search Vol. 31, No.12 2004. 10

Three-stage Flow-shop Scheduling with
Assembly Operations to Minimize the
Weighted Sum of Product Completion
Times D. L. Santos European
Journal of Operational Research Vol.
161, No.3 2005. 2

機械・電子学系

石原 正

- 【論文】 Intelligent learning controller for nonlinear systems using radial basis neural networks Muhammad Arif, Hikaru Inooka Control and Intelligent Systems 32:2 2004

Identification of the head-neck complex in response to the trunk horizontal vibration Mohammad Fard, Hikaru Inooka Biological Cybernetics 90 2004

非線形性とむだ時間を考慮した鉄道車両ブレーキのフィードバック制御 南京正信、猪岡 光 日本機械学会論文集 (C編) 70:696 2004

- 【学会発表】 Two-step design of critical control systems for non-minimum phase plants Asian Control Conference ⑧Melbourne 2004. 7

小沢 喜仁

- 【著書】 強さの不思議—ものづくりで遊ぶ材料力学— 日本機械学会、共著 技報堂出版 2005. 2

- 【論文】 Evaluation of Material Property of Short Fiber Reinforced Polymer Composites and Fiber Distribution Model Proceedings of The 11th US-Japan Conference on Composite Materials Feb7, pp.1-4. 2004. 9

Mechanical Behavior of Basalt Fiber Reinforced Polymer Composites in Temperature Condition Tokio KIKUCHI and Masayuki ISOHATA Proceedings of Third International Workshop on Green Composites (IWGC-3) pp.124-127. 2005. 3

- 【学会発表】 短繊維強化複合材料の材料特性の評価と繊維配向モデル 日本機械学会 M&M 2004 材料力学カンファレンス ⑧秋田大学 2004. 7

Evaluation of Material Property of Short Fiber Reinforced Polymer Composites and Fiber Distribution Model The 11th US-Japan Conference on Composite Materials ⑧Yamagata University 2004. 9

バサルト繊維強化有機複合材料の機械的特性と成型評価, 日本複合材料学会 第29回複合材料シンポジウム ⑧那覇市沖繩青年会館 2004.10

短繊維強化複合材料の材料特性と成型評価 日本機械学会 第17回計算力学講演会 ⑧仙台市民会館 2004.11

環境にやさしい有機複合材料の製作と機械的特性 日本産業技術教育学会 第22回東北支部大会 ⑧秋田県生涯学習センター 2004.11

Mechanical Behavior of Basalt Fiber Reinforced Polymer Composites in Temperature Condition Third International Workshop on Green Composites (IWGC-3) ⑧Doshisha University 2005. 3

柴原哲太郎

- 【調査報告】 企業経営における知的財産活動に関するオントロジー工学の応用 井口勝 商学論集 第73巻第1号 2004. 9

高橋 隆行

- 【著書】 大学院情報理工学4 「高知能移動ロボティクス」 共著 講談社サイエンティフィク

- 【論文】 脚車輪分離型ロボットの未知不整地における基本移動制御手法 中嶋秀朗、中野栄二、高橋隆行 日本ロボット学会誌 vol.22,no.8 2004.12

脚車輪分離型ロボットの予測型イベントドリブン方式によるトロット・ペース歩容 中嶋秀朗、中野栄二、高橋隆行 日本ロボット学会誌 vol.22,no.8 2004.12

脚車輪分離型ロボットのクロール歩容における脚先コンプライアンス設定法 中嶋秀朗、中野栄二、高橋隆行 日本ロボット学会誌 vol.22,no.8 2004.12

Motion Control Technique for Practical Use of a Leg-Wheel Robot on Unknown Outdoor Rough Terrains Shuro Nakajima, Eiji Nakano, and Takayuki Takahashi Proceedings of 2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2004) TP2-K1(CDROM) 2004. 9

Safety Service Manipulator : The reduction of harmful force by a controllable torque limiter SeongHee Jeong, Takayuki Takahashi, and Eiji Nakano Proceedings of 2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2004) TA 1-F 2 (CDROM) 2004. 9

Use of Sensitivity for Optimal Self-Localization with Landmarks Yukihiro

- Ono, Takayuki Takahashi, and Eiji Nakano Proceedings of 2004 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2004) TA1-A1(CDROM) 2004. 9
- 【調査報告】** FESと電気モータパワーアシストを用いた下肢障害者のためのサイクリングチェアの開発 高橋隆行、高沢稔、西山裕己、半田康延、中野栄二、木村格 厚生労働省平成15年度「神経疾患合同研究班」班会議資料 2004. 2
- 【学会発表】** 予測型イベントドリブン方式による脚車輪分離型ロボットを用いたトロット歩容及びペース歩容の実現 第9回ロボティクスシンポジウム予稿集 関沖縄県・那覇市 2005. 3
- FES Cycling Chair for the Lower Limbs Disabled People with Electric Motor Power Assist 9th Annual Conference of the International FES Society 関Bournemouth, England 2004. 9
- マニピュレータの逆運動学問題の補完解法 第22回日本ロボット学会学術講演会 関岐阜大学 2004. 9
- ペース冗長マニピュレータの安全性と安全性一器用さの適合度 第22回日本ロボット学会学術講演会 関岐阜大学 2004. 9
- 車輪型移動体の発生可能な力と速度の解析 第22回日本ロボット学会学術講演会 関岐阜大学 2004. 9
- 脚車輪分離型ロボットの大不整地移動戦略(上り段差編) 第22回日本ロボット学会学術講演会 関岐阜大学 2004. 9
- 下肢障害者用FESサイクリングチェアの仕事量推定型FES刺激強度コントローラ 第22回日本ロボット学会学術講演会 関岐阜大学 2004. 9
- 機能的電気刺激によるサイクリング運動時の脚モデルに関する実験的検討 第11回日本FES研究会学術講演会 関秋田大学 2004. 12
- マニピュレータ逆運動学問題の補完解法に関する研究 計測自動制御学会東北支部第215回研究集会 関岩手大学 2004. 5
- 田中 明**
- 【論文】** 血管内超音波法による冠動脈2次元組織速度表示方法の開発 西條 芳文、田中 明、岩本 貴宏、吉澤 誠 超音波医学31 2004. 4
- Addition of rhythm to non-pulsatile circulation. Yambe T, Sekine K, Shiraishi Y, Watanabe M, Shibata M, Yamaguchi T, Quintian W, Duan X, Jian LH, Yoshizawa M, Tanaka A, Matsuki H, Sato F, Haga Y, Esashi M, Tabayashi K, Mitamura Y, Sasada H, Sato E, Saijo Y, Nitta S. Biomed Pharmacother. 58 Suppl 1 2004. 10
- Development of an implantable undulation type ventricular assist device for control of organ circulation. Yambe T, Abe Y, Imachi K, Shiraishi Y, Shibata M, Yamaguchi T, Wang Q, Duan X, Liu H, Yoshizawa M, Tanaka A, Matsuki H, Sato F, Haga Y, Esashi M, Tabayashi K, Mitamura Y, Sasada H, Umezumi M, Matsuda T, Nitta S. Artif Organs. 28 (10) 2004. 10
- 形状記憶合金アクチュエータを応用した人工食道開発 山家 智之、堀 義生、渡辺 誠、白石 泰之、井口 篤志、田林 暁一、芳賀 洋一、江刺 正喜、吉澤 誠、田中 明、松木 英敏、佐藤 文博、川野 恭之、羅 雲、高木 敏行、早瀬 敏幸、圓山 重直、仁田 新一、佐々田 比呂志、佐藤 英明、宮田 剛、里見 進、本間 大、前田 剛 日本AEM学会誌 12(2) 2004. 11
- 新しい人工心筋システムの開発 白石 泰之、山家 智之、関根 一光、西條 芳文、渡邊 誠、柴田 宗一、山口 濟、王慶田、段 旭東、劉 紅箭、仁田 新一、岡本 英治、吉澤 誠、田中 明、小川 大祐、佐藤 文博、松木 英敏、川野 聡恭、羅 雲、堀 義生、田林 暁一、高木 敏行、早瀬 敏幸、圓山 重直、佐々田 比呂志、梅津 光生、本間 大 日本AEM学会誌 12(2) 2004. 11
- Momentary changes in the cardiovascular autonomic system during mental loading in patients with panic disorder: a new physiological index " $\rho(\max)$ ". Shioiri T, Kojima M, Hosoki T, Kitamura H, Tanaka A, Bando T, Someya T. J Affect Disord. 82(3) 2004. 11
- 映像酔いに対する自律神経系の2相性反応 杉田 典大、吉澤 誠、田中 明、阿部 健一、山家 智之、仁田 新一、千葉 滋 日本バーチャルリアリティ学会論文誌 9(4) 2004. 12
- Diagnosis and rehabilitation of hemispatial neglect patients with virtual reality technology. Baheux K, Yoshizawa M, Tanaka A, Seki K, Handa Y. Related

Articles, Links Technol Health Care
13(4) 2005

Dysfunctional baroreflex regulation of sympathetic nerve activity in remitted patients with panic disorder A new methodological approach. Shioiri T, Kojima-Maruyama M, Hosoki T, Kitamura H, Tanaka A, Yoshizawa M, Bando T, Someya T Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci. Epub 2005. 1

- 【学会発表】 定常流型両心補助人工心臓における流量推定法の長期動物実験における評価
日本人工臓器学会 図東京 2004.10

二見 亮弘

- 【論文】 Wearable Data Collection System for Online Gait Stability Analysis T. Karcnik, T.Watanabe, R.Futami and N. Hoshimiya Neuromodulation Vol.7, No.3 2004. 6

Sequential grouping of tone sequence as reflected by the mismatch negativity S.Kanoh, R.Futami and N.Hoshimiya Biological Cybernetics Vol.91, No.6 2004. 11

- 【学会発表】 FES control based treadmill rehabilitation after incomplete spinal cord injury Japanese-Korean Joint Conference on Rehabilitation Medicine 2004 図Kyoto 2004. 4

Sensory Supported FES Control in Gait Training of Incomplete SCI Persons 8th Vienna International Workshop on Functional Electrical Stimulation 図Vienna 2004. 9

Psychophysical experiments of human luminance discrimination and the model neural network Fourth International Symposium on Human and Artificial Intelligence Systems 図Fukui 2004. 12

ヒトの輝度弁別特性とその神経回路モデル 電子情報通信学会 NC 研究会 図仙台 2004. 5

筋電駆動型下肢 F E S 制御システムの開発 電子情報通信学会 MBE 研究会 図仙台 2004. 11

筋電駆動型下肢 F E S 制御システムの開発 第11回日本 F E S 研究会学術講演会 図秋田 2004. 12

山口 克彦

- 【著書】 3次元可視化とWeb配信を用いた3次元の科学教材-Vol.3 可視化物性物理学

共著 メディア教育開発センター

- 【論文】 Monte Carlo simulation of dynamic magnetic processes for spin system with local defects K.Yamaguchi, S. Tanaka, O. Nittono, T. Takagi, K. Yamada Physica B 343 2004

Monte Carlo Simulation for Barkhausen Noise Katsuhiko YAMAGUCHI, Shinya TANAKA, Hiroko WATANABE and Toshiyuki TAKAGI IEEE TRANSACTIONS ON MAGNETICS 40 2004

- 【学会発表】 Monte Carlo Simulation of Barkhausen Noise for Micro Magnetic Clusters The Eleventh Biennial IEEE Conference on Electromagnetic Field Computation (CEFC2004) 図ソウル(韓国) 2004. 5

残留応力検出のための角度分解バルクハウゼンノイズ測定 第28回日本応用磁気学会学術講演会 図沖縄 2004. 9

強磁性障壁層のためのEuO薄膜の磁気特性 第28回日本応用磁気学会学術講演会 図沖縄 2004. 9

転位を含んだスピンのモンテカルロシミュレーション 第28回日本応用磁気学会学術講演会 図沖縄 2004. 9

物質・エネルギー学系

猪俣 慎二

- 【論文】 Reaction of mixed-ligand iron-sulfur cluster $[Fe_4(Cp^*)_3(Ph_2C_2S_2)(\mu_3-S)_3(\mu_3-S_2)]$ ($Cp^* = C_5Me_5$) with methyl iodide. Synthesis, structure, and redox behavior of $[Fe_4(Cp^*)_3(Ph_2C_2S_2)(\mu_3-S)_3(\mu_3-S_2Me)]$ Shinji Inomata, Keiichi Hitomi, and Hiroshi Ogino Bull. Chem. Soc. Jpn. 77 2004

大山 大

- 【論文】 Strong Interaction between Carbonyl and Dioxolene Ligands Caused by Charge Distribution of Ruthenium - Dioxolene Frameworks of Mono- and Dicarbonylruthenium Complexes Tohru Wada, Tetsuaki Fujihara, Mizuno Tomori, Koji Tanaka Bulletin of the Chemical Society of Japan Vol. 77 2004. 4

Selective methyl group dissociation by chemical and electrochemical reactions in ruthenium (II) complexes Inorganic Chemistry Communications Vol. 7 2004. 7

A synthetic precursor for hetero-binuclear metal complexes, [Ru(bpy)(dppy)₂(CO)₂](PF₆)₂ Masahito Sato Applied Organometallic Chemistry Vol. 18 2004. 8

【学会発表】 竹炭の添加による水の成分変動：キャピラリー電気泳動を用いた陽イオンのモニタリング 第65回分析化学討論会 関琉球大学 2004. 5

Synthesis and redox behavior of ruthenium complexes with redox active azopyridyl ligands 36th International Conference on Coordination Chemistry 関Merida (Mexico) 2004. 7

自発的にCOをリリースするルテニウム錯体 第54回錯体化学討論会 関熊本大学 2004. 9

金澤 等

【学会発表】 N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考(7)：BLGNCAを主とした溶液重合と固相重合の比較 澤井彩乃、稲田文、渡邊裕子 第53回高分子学会年次大会 関神戸 2004. 5

N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考(8)：溶液反応の見直しと固相重合の可能性 澤井彩乃、稲田文、渡邊裕子 2004年繊維学会年次大会 関東京 2004. 6

N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考の反応性の再考(9) 稲田文、川奈誠和 第49回家政学会東北・北海道支部大会 関山形 2004. 9

繊維の吸着による水中の有機化合物の除去の可能性 長田那美子、川奈誠和 第49回家政学会東北・北海道支部大会 関山形 2004. 9

N-カルボキシアミノ酸無水物の反応性の再考の反応性の再考(10) 稲田文、川奈誠和 2004高分子学会東北支部大会 関米沢 2004. 11

【特 許】 Method of Modifying Polymeric Material and Use Thereof Hitoshi Kanazawa USA Patent No.6830782 備考：取得特許 2004. 12

佐藤 理夫

【論 文】 化合物半導体を用いた水素選択透過膜 佐藤理夫 NTT先端技術総合研究所 ニュースレター 174号 2004. 9

【学会発表】 多孔質基板上に成長した化合物半導体を用いた水素選択透過膜 応用物理学会 関仙台 2004. 9

【特 許】 水素化反応方法および装置 佐藤理夫 特願2004-264229

水素分離膜およびそれを用いた水素精製装置 佐藤理夫 特願2004-176847

水素精製装置 佐藤理夫 特願2004-006662

島田 邦雄

【論 文】 ER流体を用いた回転形デバイスにおける電流密度の過渡特性 西田均、島田邦雄、藤田禱典、奥井健一 日本AEM学会誌 12巻2号 2004. 11

Magnetic rubber having magnetic clusters composed of meatl particles Kunio SHIMADA, Shigemitsu SHUCHI and Hideto KANNO Journal of Intelligent Material Systems and Structures-Vol.16 2005. 1

磁気反応流体を用いた粘性ダンパの可変減衰能に関する実験研究 菅野秀人、島田邦雄、小川淳二 日本機械学会論文集 71巻703号B編 2005. 3

【学会発表】 磁性粒子を含む流体と固体の磁化特性と自己集積化 電気学会マグネティクス研究会 関北九州 2004. 10

Rheological and magnetic characteristics of amorphous compound fluid 1st International Conference on Fluid Dynamics 関仙台 2004. 11

MCFフルートポリッシングの研磨特性に及ぼす構成成分の影響 磁性流体連合講演会 関東京 2004. 12

MCFを含有するシリコンゴムの動的特性 磁性流体連合講演会 関東京 2004. 12

杉森 大助

【論 文】 Microbial hydroxylation of indole to 7-hydroxyindole by Acinetobacter calcoaceticus strain 4-1-5 Takanori Sekiguchi, Fumihiko Hasumi, Motoki Kubo, Naoki Shirasaka, and Masaya Ikunaka Biosci. Biotechnol. Biochem. 68・5 2004. 5

【学会発表】 (R)-2-フェニルプロピオン酸メチルに対して高い立体選択性を有する糸状菌由来エステル加水分解酵素の精製 石油学会 関松山(南海放送本町会館)2004. 11

【書 評】 微生物製剤 単著 ペテロテック 28・1 2005. 1

油脂分解微生物製剤の開発を目指して 単著 ペテロテック 28・1 2005. 1

【特 許】 新規ホスホリパーゼC 杉森大助
特願2004-151255

高貝 慶隆

【論 文】 Determination of Lower Sub ppt Levels of Environmental Analytes Using High-powered Concentration System and High-performance Liquid Chromatography with Fluorescence Detection 秋山亮太郎、五十嵐淑郎 Analyst 129巻 2004. 4

Preconcentration technique for nonylphenol using cellulose cotton with homogeneous liquid-liquid extraction for liquid chromatographic analysis 久保田俊夫、秋山亮太郎、青山英司、五十嵐淑郎 Analytical Bioanalytical Chemistry 380巻2号 2004. 9

Adsorption and desorption properties of trans-resveratrol on cellulose cotton 久保田俊夫、小林英俊、田代智孝、高橋敦史、五十嵐淑郎 Analytical Science 21巻2号 2005. 2

【学会発表】 レスベラトロールの脱脂綿への吸着及び脱離特性 日本分析化学会 第53年会 圏千葉工業大学 2004. 9

入戸野 修

【著 書】 材料科学への招待 新しい視点に立って 共著(編)第4刷発行 培風館 2004. 7

【論 文】 Observation of magnetic structures in Fe granular films by differential phase contrast scanning transmission electron microscopy Sannomiya, Haga, Nakamura, Nittono J.Appl.Phys. 95(1) 214-218 2004

Monte Carlo simulation of dynamic magnetic process for spin system with local defects Yamaguchi, Tanaka, Nittono, Takagi, Yamada Physica B 343 298-302 2004

Magnetoresistance of Co-Pt-ITO composites films Ekawati, Shi, Nakamura, Nittono Trans MRS 29(4) 1803-1806 2004

Monte Carlo simulation for Barkhausen noise Yamaguchi, Tanaka, Watanabe, Nittono, Takagi, Yamada IEEE Trans Magnetics 40(2) 884-887 2004

Correlation between magnetization performance and magnetic microstructure of patterned permalloy films fabricated by microcontact printing Sannomiya, Shi, Nakamura, Nittono J.Appl.Phys.

96(9) 5050-5055 2004

Analysis of Barkhausen noise using Monte Carlo simulation for nondestructive evaluation Yamaguchi, Tanaka, Watanabe, Nittono, Takagi, Yamada J.Mat. Proc. Tech. 161 338-342 2005

【訳書・翻訳】 材料の科学と工学(1) 材料の微細構造 監訳(共著) 培風館 初版第2刷発行 2004. 9

材料の科学と工学(4) 材料の構造・製造・設計 監訳(共著) 培風館 初版第2刷発行 2004. 9

材料の科学と工学(2) 金属材料の力学的性質 監訳(共著) 培風館 初版第2刷発行 2004. 9

材料の科学と工学(3) [材料の物理的・化学的性質] 監訳(共著) 培風館 初版第2刷発行 2004. 9

【学会発表】 電析ニッケル薄膜の磁気的特性Ⅱ 日本物理学会 圏東京理科大 2005. 3

The Effect of Pt Content on Magnetoresistance in Co-ITO Films 日本金属学会 圏秋田大学 2004. 9

生命・環境学系

石田 葉月

【論 文】 持続可能な社会に向けて確保すべき農業就業人口の推定 後藤忍 環境共生 Vol.9 2004

【学会発表】 Capability, Income, and Sustainable Society International Society for Ecological Economics, 8th Biennial Scientific Conference 圏Montreal, CANADA.2004

木村 吉幸

【著 書】 小さな哺乳類 木村吉幸 歴史春秋出版株式会社 歴春ふくしま文庫25 2004. 5

原町市史 第Ⅱ編生物 第2章動物 概説 木村吉幸(分担執筆) 北日本印刷株式会社 第8巻 特別編Ⅰ自然 2005. 3

【論 文】 福島県伊達郡川俣町小神地域における哺乳類 木村吉幸、岩崎雄輔、佐久間美穂、神谷みづき 福島生物 No.47 2004. 8

福島県におけるイノシシ (*Sus scrofa*) について 木村吉幸、今野志麻、岩崎雄輔 ANIMATE No.5 2004. 12

オオカミとカワウソの剥製標本 木村
吉幸 ANIMATE No.5 2004.12
DATA でみる自然保護⑤体の長さを測っ
て区別するヤチネズミとスミスネズミ
木村吉幸 自然保護 No.483 2005. 1

黒沢 高秀

【論文】 New species in *Mallotus* and *Croton*
(Euphorbiaceae) from Nepal Edin-
burgh J. Bot. 61 2004

ふくしま県民の森「フォレストパークあ
だたら」の植物相 遠藤史貴 福島
生物 47 2004. 8

岩手県立博物館所蔵の笹村コレクション
に含まれるトウダイグサ属標本の特色と
ラベルに記載された独自の学名について
鈴木まほろ 岩手県立博物館研究報告
22 2005. 3

【調査報告】 福島県外の学術雑誌で発表された福島県
の維管束植物に関する新知見 (2002-2004
年, および1990-2001年追補) 黒沢祥
子 フロラ福島 21 2004. 6

福島県内の植物標本の現状と課題。
フロラ福島 21 2004. 6

【学会発表】 A new *Thismia* Griff. (Burmanniaceae)
from the Himalayas The Society of
Himalayan Botany 国Institute for Tropi-
cal Biology and Conservation Universiti
Malaysia Sabah. 2004.12

福島市笹森山におけるクマガイソウのマ
ルハナバチによる訪花頻度, 送粉頻度,
および結実率 日本生態学会東北地区
会 国弘前大学 2005. 1

後藤 秀昭

【著書】 1: 25,000都市圏活断層図「喜多方」
共著 今泉俊文、後藤秀昭、平川一臣、
宮内崇裕 国土地理院

1: 25,000都市圏活断層図「若松」 共
著 宮内崇裕、今泉俊文、越後智雄、後
藤秀昭、澤 祥、八木浩司 国土地理
院

【論文】 黒松内低地断層帯の最新活動時期と地下
地質構造 吾妻 崇、後藤秀昭、下川
浩一、奥村晃史、寒川 旭、杉山雄一、
町田 洋、黒沢英樹、信岡 大、三輪敦
志 活断層・古地震研究報告 4
2004.11

2002年6月22日イラン西部地震の地表地
震断層 後藤秀昭、吾妻 崇、小長井
一男、Sadr Amir 活断層研究 24
2004. 6

有馬-高槻断層帯の先史・歴史地震に伴
う横ずれ地表変位 堤 浩之、後藤秀
昭、谷美由紀 活断層研究 24
2004. 6

【学会発表】 常磐海岸北部におけるラグーン堆積物中
の津波堆積物 後藤秀昭、青山繁雄
日本地理学会 国青山学院大学 2005. 3

Segmentation and spatial clustering of
active faulting along the Median Tectonic
Line in Shikoku, Japan. Hokudan Inter-
national Symposium on Active Faulting
Hideaki Goto and Nakata Takashi
Research on Active Faulting to Mitigate
Seismic Hazards: the State of the Art
国北淡町震災記念公園 2005. 1

Active faults of the Fergana Basin, cen-
tral Asia Hideaki Goto, Yunuskhod-
jiev Rafik and Tyagunov Sergey Re-
search on Active Faulting to Mitigate
Seismic Hazards: the State of the Art
国北淡町震災記念公園 2005. 1

中央構造線活断層帯(四国)における最
近の研究成果 後藤秀昭 日本地理
学会 国広島大学 2004. 9

Paleoseismicity of the Philippine fault
zone in the Luzon Island, Philippines.
Hokudan International Symposium on
Active Faulting Hiroyuki Tsutsumi,
Goto Hideaki, Daligdig A. Jessie, Okuno
Mitsuru, Nakata Takashi, and Tungol
M. Norman Research on Active Fault-
ing to Mitigate Seismic Hazards: the
State of the Art 国北淡町震災記念公園
2005. 1

Recent paleoseismological study on the
Kuromatsunai lowland thrust system in
southwestern Hokkaido, northern Japan
Takashi Azuma., Goto H., Okumura
K. and Y. Sugiyama Research on
Active Faulting to Mitigate Seismic Haz-
ards: the State of the Art 国北淡町震
災記念公園 2005. 1

The latest event and start period of the
thrust system in the Kuromatsunai low-
land, northernmost part of the back arc
zone of Northeast Japan Azuma T.,
Goto H., Okumura K., Sugiyama Y.
AGU Fall Meeting 国SanFrancisco, US
2004.12

長万部付近にみられる段丘面の傾動と活
褶曲運動 吾妻 崇、奥村晃史、後藤
秀昭、黒澤英樹、信岡 大、三輪敦志、
下川浩一、寒川 旭、杉山雄一 日本
第四紀学会 国山形大学 2004. 8

断層の分布形態と縦ずれ変位パターンから見たルソン島のフィリピン断層系のセグメンテーション 堤浩之、中田高、後藤秀昭 地球惑星科学関連学会2004年合同大会 函幕張メッセ国際会議場 2004. 5

黒松内低地断層帯における低角逆断層による地層変形とその活動 吾妻崇、後藤秀昭、下川浩一、杉山雄一、寒川旭、奥村晃史、黒澤英樹、信岡大、三輪敦志 地球惑星科学関連学会2004年合同大会 函幕張メッセ国際会議場 2004. 5

小山 純正

【論文】 睡眠・覚醒調節における汎性投射系の役割 生体の科学・55巻・6号 55巻・6号 2004. 11

【学会発表】 ラット橋排尿中枢に対する頻尿治療薬作用の検討 山尾裕、田中善之、河内明宏、藤戸章、邵仁哲、香山雪彦、三木恒治 第92回日本泌尿器科学会総会 函大阪 2004. 4

オレキシン-中脳投射系による筋トーンスの調節について 高橋和巳、原田広文、斎藤和也、奥村利勝、高草木薫 第6回オレキシン研究会プログラム 函東京 2004. 5

オレキシンによる脚橋被蓋核でのGABAの放出 高橋和巳、児玉亨、高草木薫 第6回オレキシン研究会プログラム 函東京 2004. 5

睡眠ステージ移行期の脳波ダイナミクスと神経活動の関係 玉川雄一、辛島彰洋、片山統裕、中尾光之 電子情報通信学会技術研究会 函仙台 2004. 5

Penile erection evoked after electrical stimulation of laterodorsal tegmental nucleus. Toledo J. Carlos, IWASAKI Hiroshi, SCHMIDT H Markus, KAYAMA Yukihiro 第81回日本生理学会大会 函札幌 2004. 6

逆説睡眠時の血圧変動に相関する外側視床下部のニューロン活動 高橋和巳、香山雪彦 日本睡眠学会第29回定期学術集会 函東京 2004. 7

REM睡眠発現ニューロンの活動を調節するGABA性入力について -モノアミンニューロンとの比較- 高橋和巳、香山雪彦 第27回日本神経科学学会 函大阪 2004. 9

視床下核ニューロンは選択的な神経路を介してドーパミン依存性行動を強調

小林和人、八十島安伸、香山雪彦 第27回日本神経科学学会 函大阪 2004. 9

老齢ラット脳幹のアセチルコリン、モノアミンおよびGABA作動性ニューロンについて 二宮治重子、香山雪彦 第27回日本神経科学学会 函大阪 2004. 9

Electrical stimulation of laterodorsal tegmental nucleus evokes penile erection Toledo J. Carlos, IWASAKI Hiroshi, SCHMIDT H Markus, KAYAMA Yukihiro 第37回東北生理学談話会 函仙台 2004. 10

Regulation of muscular tonus by the orexinergic projection to the mesopontine tegmentum TAKAHASHI Kazumi, KODAMA Tohru, SAITO Kazuya, HARADA Hirofumi, TAKAKUSAKI Kaoru 17th Congress of the European Sleep Society 函Prague 2004. 10

Neuronal activity in the lateral hypothalamus precedes phasic fluctuation of blood pressure during paradoxical sleep Takahashi Kazumi, KAYAMA Yukihiro 17th Congress of the European Sleep Society 函Prague 2004. 10

Orexinergic inhibition on the Mesopontine cholinergic neurons mediated through GABAergic neurons TAKAHASHI Kazumi, KODAMA Tohru, HONDA Yoshiko, TAKAKUSAKI Kaoru, KAYAMA Yukihiro 34th Annual Meeting of Society for Neuroscience 函San Diego 2004. 11

Role of orexinergic projections to the midbrain involved in the control of locomotion and postural muscle tone TAKAKUSAKI Kaoru, TAKAHASHI Kazumi, SAITO Kazuya, HARADA Hirofumi, OKUMURA Toshiharu, KAYAMA Yukihiro 34th Annual Meeting of Society for Neuroscience 函San Diego 2004. 11

Subthalamic neurons express dopaminergic-mediated behavior through differential neural pathways YASOSHIMA Yasunobu, Kayama Yukihiro, KOBAYASHI Kazuo 34th Annual Meeting of Society for Neuroscience 函San Diego 2004. 11

睡眠と血圧調節 第81回日本生理学会大会(シンポジウム) 函札幌 2004. 6

REM睡眠中の陰茎勃起のメカニズム

第14回日本性機能学会中部総会 (シンポジウム) 関京都 2004. 7

柴崎 直明

【学会発表】 日本の地下水シミュレーション技術
中国地質環境監測院 関中国北京市
2004. 7

地下水シミュレーションの最新動向
新疆大学資源と環境科学学院 関中国ウ
ルムチ市 2004. 11

新疆トルファンにおける地下水シミュ
レーション 新疆大学資源と環境科学学
院 関中国ウルムチ市 2005. 3

鈴木 浩

【著 書】 地域からの住まいづくり 共著 ドメ
ス出版

検証 地方がヘンだ 共著 洋泉社

ホームレスと住まいの権利—住宅白書
2004—2005 共著 ドメス出版

【論 文】 住宅建設計画と住宅基本法 単著
住宅会議 63号 2005. 2

今なぜコンパクトシティなのか 単著
次世代都市きたかみ創造ワークショップ
報告書 2005. 1

高齢化社会の展開とその対応—地域計
画、住宅政策の視点から 単著 東北
開発研究 132号 2004. 4

【調査報告】 阿武隈川流域総合調査報告書2002—2004
後藤忍、後藤秀昭、塩谷弘康、初沢敏生
単独出版 2005. 3

「地域居住支援システム」を支える地域
建設産業の展望 単独出版 2004. 5

【学会発表】 これからの地域居住政策のあり方 日
本建築学会 関札幌市 2004. 8

塘 忠顕

【論 文】 Transmission Electron Microscopical Ob-
servations of the Egg Membranes of a
South African Heel-walker, *Karoophasma*
biedouwensis (Insecta: Mantophasmato-
dea) R.Machida, K.Tojo, T.Uchifune,
K.-D.Klass, M.D.Picker Proceedings
of Arthropodan Embryological Society
of Japan 39 23-29 2004. 6

Embryonic development of heel-walkers:
Reference to some prerevolutionary
stages (Insecta: Mantophasmatodea)
R.Machida, K.Tojo, T.Uchifune, K.-D.
Klass, M.D.Picker, L.Pretorius Pro-
ceedings of Arthropodan Embryological
Society of Japan 39, 31-39 2004. 6

福島県飯野町におけるメクラツチカニム
シ *Mundochthonius japonicus* Chamber-
lin (蛛形綱: カニムシ目) の生活史
加藤与志輝 Proceedings of Arthropo-
dan Embryological Society of Japan 39,
55-58 2004. 6

シロハラコカゲロウ *Baetis thermicus*
Ueno の卵巣構造の発達と卵形過程 (昆
虫綱: カゲロウ目) 影山昌幹
Proceedings of Arthropodan Embryologi-
cal Society of Japan 39, 61-64 2004. 6

Ovarian structure and oogenesis of a
South African heel-walker, *Karoophasma*
biedouwensis (Mantophasmatodea)
K.Tojo, T.Uchifune, R.Machida Zoo-
logical Science 21, 1268 2004. 12

【調査報告】 福島大学構内における蝶類の記録 (2003
年5月—2004年5月) 野沢沙樹
福島生物 (47), 29-36 2004. 8

福島大学構内及びその周辺のアザミウマ
類 Ⅲ. 大学構内のブタナの花から採集
されたアザミウマ類 単著 福島生物
(47), 37-42 2004. 8

【学会発表】 *Tenothrips frici* Uzel の腹板腺の微細構
造 (総翅目: 穿孔亜目) 下谷沙織、
塘 忠顕 日本節足動物発生学会第40
回大会 関筑波大学 2004. 6

コカゲロウ類の卵膜の微細構造とその形
成過程 (昆虫綱: カゲロウ目) 夏坂
和史、塘 忠顕 日本節足動物発生学
会第40回大会 関筑波大学 2004. 6

ビドーカカトアルキ *Karoophasma bie-*
douwensis の卵形成 (昆虫綱: カカトア
ルキ目) 塘 忠顕、東城幸治、町田
龍一郎 日本節足動物発生学会第40回
大会 関筑波大学 2004. 6

ビドーカカトアルキの卵巣構造と卵形成
(昆虫綱: カカトアルキ目) 塘 忠
顕、東城幸治、内船俊樹、町田龍一郎
日本動物学会第75回大会 関甲南大学
2004. 9

アザミウマ類 (昆虫綱: 総翅目) の腹板
腺の微細構造に関する比較形態学的研究
塘 忠顕、須藤弥奈、下谷沙織 日本
昆虫学会第64回大会 関北海道大学
2004. 9

公開シンポジウム 親子で楽しむ動物学
6 「知っていますか身近な動物たち: 環
境と生物から学ぶこと」 <実習> 身近
な川にすむ動物 —自分の目で水生昆虫
を見てみよう 日本動物学会東北支部
大会 関福島県立医科大学 2004. 8

長橋 良隆

【論文】 福島県太平洋岸の鮮新統大年寺層に挟在する広域テフラ層 長橋良隆、高橋友啓、柳沢幸夫、黒川勝己、吉田武義
地球科学 58・5 2004. 9

男鹿半島北浦層の Km2テフラ層と新潟地域の SK100テフラ層の対比 黒川勝己、矢萩春菜、丹 真紀子、長橋良隆
地球科学 58・5 2004. 9

火山ガラスの主要成分含有量と屈折率との関係 長橋良隆、吉川周作、宮川ちひろ、内山 高、里口保文 第四紀研究 43・5 2004. 10

福島市南西部に分布する鮮新世「笹森山安山岩」の K-Ar年代 長橋良隆、木村裕司、大竹二男、八島 隆一 地球科学 58・6 2004. 11

【学会発表】 大阪層群と上総層群における前・中期更新世テフラ層の対比 日本第四紀学会 関山形大学 2004. 8

上総層群に挟在するテフラ層の爆発的火山噴火史と伊豆-小笠原弧のテクトニクス 日本地質学会 関千葉大学 2004. 9

2004年9月1日の浅間山噴火に伴う福島県郡山市の火山灰と福島市の降雨について 日本火山学会 関静岡県 2004. 10

仙台市西方、鮮新世深野・天神カルデラの地質 日本地質学会 関千葉大学 2004. 9

Evolution of magma plumbing systems in the late Cenozoic NE Honshu arc, Japan AGU 関アメリカ 2004. 12

永幡 幸司

【著書】 現代のエスプリ「ボトムアップ人間科学の可能性」 分担執筆 至文堂

【論文】 What kinds of sounds are noisy for citizenry?: a basic study on analyzing the people's concept of "noise" 単著
Proceeding of International Congress on Acoustics 2004 2004. 4

Ineffective "Barrier-free Acoustic Design" for Visually Impaired Persons 単著
Proceeding of inter-noise 2004 2004. 8

視覚障害者には役立たない視覚障害者のための音によるバリアフリーデザイン 単著 日本騒音制御工学会研究発表会講演論文集 2004. 9

A Soundscape Study: What kinds of

Sounds can Elderly people affected by Dementia recollect? K. Nagahata, T. Fukushima, N. Ishibashi, Y. Takahashi, M. Moriyama Noise & Health 6(24) 2004. 10

街頭ビジョンはどのように視聴されているのか -福島大学中央広場におけるケーススタディー 鹿俣美穂、永幡幸司 日本サウンドスケープ協会研究発表会講演論文集 2004. 10

現代の俳句に詠み込まれたサウンドスケープの特徴 中泉直之、永幡幸司、白石浩介、岩宮眞一郎 日本サウンドスケープ協会研究発表会講演論文集 2004. 10

Why are Inappropriate Barrier-free Acoustic Designs for Visually Impaired Persons Provided? 単著 Journal of Physiological Anthropology and Applied Human Science 24(1) 2005. 1

Quality of life from the viewpoint of patients with dementia in Japan: nurturing through an acceptance of dementia by patients, their families and care professionals Tetsuhito Fukushima, Koji Nagahata, Noriko Ishibashi, Yukio Takahashi, Masaki Moriyama Health and Social Care in the Community 13(1) 2005. 1

音による案内に視覚障害者が望む音量を測定するための基礎的検討 山内勝也、永幡幸司、上田麻理、岩宮眞一郎 日本音響学会2005年春季研究発表会講演論文集 2005. 3

【調査報告】 観世音寺の鐘を聴きに来るのは誰? サウンドスケープ研究会@福岡の1996年の記録より 単著 サウンドスケープ 6 2004. 6

【学会発表】 What kinds of sounds are noisy for citizenry?: a basic study on analyzing the people's concept of "noise" International Congress on Acoustics 関京都 2004. 4

Ineffective "Barrier-free Acoustic Design" for Visually Impaired Persons inter-noise 2004 関Prague 2004. 8

視覚障害者には役立たない視覚障害者のための音によるバリアフリーデザイン 日本騒音制御工学会 関甲府 2004. 9

Why are Inappropriate Barrier-free Acoustic Designs for Visually Impaired Persons Provided? Design of Artificial Environments on the Basis of Human

- Sensibility 関福岡 2004.12
- 難波 謙二**
- 【論文】** Analysis of facultative lithotroph distribution and diversity on volcanic deposits using the large sub-unit of ribulose 1,5-bisphosphate carboxylase/oxygenase. Nanba K., King G. M. and Dunfield K. *Applied and Environmental Microbiology* 70(4) 2004. 4
- Natural groundwater of a gas field utilizable for a bioremediation of trichloroethylene-contamination. Takeuchi M., Nanba K., Furuya K., Nirei H. and Yoshida M. *Environmental Geology* 45 2004. 5
- Functional roles of the transverse and longitudinal flagella in the swimming motility of *Prorocentrum minimum* (Dinophyceae). Miyasaka I., Nanba K., Furuya K., Nimura Y. and Azuma A. *The Journal of Experimental Biology* 207(17 Aug) 2004. 8
- 【調査報告】** 自動記録水位計のデータ処理方法に関する一つの考え方(その2) 飯島、高信、石田、本田、浅野、高嶋、難波、和田 第14回環境地質学シンポジウム論文集 2004.12
- 「環境」における Placebo 反応類似現象 難波 第14回環境地質学シンポジウム論文集 2004.12
- 大地の呼吸について 楡井、金城、板津、難波、吉田、檜山、大脇、楠田、庄山、篠原、干場、田村、高橋 第14回環境地質学シンポジウム論文集 2004.12
- 微生物・地質化学相互作用モデルの構築と検証 宮坂、難波、加藤、栃木、福永、菅野 第14回環境地質学シンポジウム論文集 2004.12
- 潮来市内完新統の微生物・地質・化学の相互影響 難波、宮坂、加藤、楡井、福永、菅野 第14回環境地質学シンポジウム論文集 2004.12
- 【学会発表】** 自動記録水位計のデータ処理方法に関する一つの考え方(その2) 第14回環境地質学シンポジウム 関東京 2004.12
- 「環境」における Placebo 反応類似現象 第14回環境地質学シンポジウム 関東京 2004.12
- 大地の呼吸について 第14回環境地質学シンポジウム 関東京 2004.12
- 微生物・地質化学相互作用モデルの構築と検証 第14回環境地質学シンポジウム 関東京 2004.12
- 潮来市内完新統の微生物・地質・化学の相互影響 第14回環境地質学シンポジウム 関東京 2004.12
- 微生物・地質化学の相互作用の数値シミュレーションを用いた定量評価 日本地質学会第111会学術大会 関千葉 2004. 9
- 潮来市内完新統の微生物・地質・化学の相互影響, 日本地質学会第111会学術大会 関千葉 2004. 9
- Response of marine and terrestrial bacteria to arsenic. 9th International Symposium on Microbial Ecology 関Mexico 2004. 8
- Chloroflexus-like bacteria are abundant in anoxic shallow terrestrial subsurface Holocene sediments from the catchment of Lake Kitaura. 日本微生物生態学会 関仙台 2004.10
- 虫明 功臣**
- 【著書】** 変革と水の21世紀 共著 山海堂 2004.12
- 自然と共生した流域圏・都市の再生 共著 山海堂 2005. 2
- 分散型サンテーションと資源循環 監修 技報堂出版 2005. 3
- 流域圏プランニングの時代 共著 技報堂出版 2005. 3
- 【論文】** Analysis of water resources variability in the Yellow River of China during the last half century using historical data Dawen Yang, Katumi Musiaka, *et. al* *Water Resources Research* Vol. 40 2004. 6
- Challenges to Hydrology and Water Resources in Monsoon Asia Katumi Musiaka *Proceedings of International Conference on "Advances in Integrated Mekong River Management"* 2004.10
- 渡邊 明**
- 【論文】** On the formation of longitudinal cloud mode in the winter monsoon over Japan 単 14th International Conference on Clouds and Precipitation 2004. 7
- CReSSによる冬季降雪雲のSimulation 単 第6回非静力学モデルに関するワークショップ 2004.11
- 福島県におけるLongitudinal-Mode Cloudによる降雪システム 単 東北の雪と

- 生活 No.19 2004. 11
- A change of mean physical quantity in the monsoon and pre-monsoon. Mu-siake.K *et. al* The 6th International Study Conference on GEWEX in Asia and GAME 2004. 12
- 福島県北東部の強風出現について 単
東北地域災害科学研究 No.41 2005. 3
- 【学会発表】** 福島県におけるLongitudinal-Mode Cloud
による降雪システム 日本雪氷学会東
北支部 関山形 2004. 5
- 2004年1月14日の Longitudinal-mode 降雪
雲の形成について 日本気象学会
関東京 2004. 5
- On the formation of longitudinal cloud
mode in the winter monsoon over Japan
単 14th International conference on
clouds and Precipitation 関ボローニャ
(イタリア) 2004. 7
- 冬季モンスーンにおける東北地方の降雪
雲モードについて 日本気象学会
関福岡 2004. 10
- CReSS による冬季降雪雲の Simulation
第6回非静力学モデルに関するワーク
ショップ 関仙台 2004. 11
- A change of mean physical quantity in
the monsoon and pre-monsoon. The
6th International Study Conference on
GEWEX in Asia and GAME 関京都
2004. 12
- 福島県北東部の強風出現について 日
本自然災害学会東北支部 関鶴岡
2005. 3
- 渡辺 厚**
- 【論 文】** 学生相談は自殺や犯罪の予防に効果があ
るのか? CAMPUS HEALTH 41(1)
2004
- 新入生の自覚症状の変遷 —平成7年か
ら13年までのUPI集計の概要— 福島
大学保健管理センター紀要 19 2004
- 渡辺 英綱**
- 【論 文】** Elevated plasma renin activity and al-
dosterone concentration are independent
risk factors for progression of renal in-
jury in hypertension Hidetsuna Wa-
tanabe and Pedro A. Jose Circulation-
Vol110, No.17, III-199 2004. 10
- 2年間の感冒様症状にて受診時の生活状
況に関する研究 渡辺英綱、渡辺
厚、酒井コウ、川上敦子 CAMPUS
HEALTH 41(1), p150 2004. 1
- 4年間の大学生における飲酒経験変化
渡辺英綱 福島大学保健管理センター
紀要 第19号 2004. 12
- 各種生活習慣危険因子と頸動脈硬化病変
に関する検討 渡辺英綱、渡辺 厚、
酒井コウ、川上敦子 CAMPUS
HEALTH 41(1), p86 2004. 1
- 【学会発表】** 頸動脈硬化病変とインスリン抵抗性およ
び生活習慣危険因子との関連 渡辺英
綱、福島県立医科大学第三内科 橋本重
厚、渡辺毅 第101回日本内科学会総
会・講演会 関東京国際フォーラム
2004. 4
- 大学生の定期健康診断における随時尿検
査と早朝尿検査の比較 渡辺英綱、福
島県立医科大学第三内科 加藤哲夫、渡
辺毅 第47回日本腎臓学会学術総会
関栃木県総合文化センター、宇都宮市
2004. 5
- 大学生の睡眠習慣と血圧 渡辺英綱、
早稲田大学大学院人間科学研究科 浅岡
章一、福島大学教育心理学 福田一彦
第42全国保健管理研究集会 関大阪国際
交流センター 2004. 10
- 労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリ
ストと脳心血管危険因子との関連性
渡辺英綱、渡辺厚、酒井コウ、川上敦子
第42全国保健管理研究集会 関大阪国際
交流センター 2004. 10
- Elevated plasma renin activity and al-
dosterone concentration are independent
risk factors for progression of renal in-
jury in hypertension Hidetsuna Wa-
tanabe and Pedro A. Jose Scientific
Session 2004. American Heart Associa-
tion 関New Orleans Louisiana 2004. 11
- 血中高感度CRP濃度(hs-CRP)とインスリ
ン抵抗性および生活習慣要因との関連性
渡辺英綱、双葉厚生病院内科 林晃、重
富秀一 第47回日本糖尿病学会年次集
会 関東京 2004. 5
- 喫煙者の感冒症状の特徴—非喫煙者の感
冒との比較— 渡辺英綱、渡辺厚、酒
井コウ、川上敦子 第42回全国大学保
健管理研究集会東北地方研究集会 関福
島グリーンパレス、福島市 2004. 7

学 長

臼井 嘉一

- 【論 文】** ラッグカリキュラム理論と「社会問題学
習」(上) 安藤勝夫 福島大学教
育実践研究紀要 47号 2004. 12